

平成31年陸別町議会3月定例会会議録（第2号）						
招集の場所	陸別町役場議場					
開閉会日時 及び宣告	開会	平成31年3月7日 午前10時00分		議長	宮川 寛	
	散会	平成31年3月7日 午後3時23分		議長	宮川 寛	
応（不応）招議員及び出席並びに欠席議員	議席番号	氏名	出席等の別	議席番号	氏名	出席等の別
出席 7人	1	中村佳代子	○	8	宮川 寛	○
欠席 1人	2	久保広幸	○			
凡例	3	多胡裕司	▲			
○ 出席を示す	4	本田 学	○			
▲ 欠席を示す	5	山本厚一	○			
× 不応招を示す	6	渡辺三義	○			
▲⊗ 公務欠席を示す	7	谷 郁 司	○			
会議録署名議員	渡辺三義		谷 郁 司			
職務のため議場に出席した者の職氏名	事務局長 早坂政志			主任主査 吉田利之		
法第121条の規定により出席した者の職氏名	町 長	野尻秀隆		教 育 長	野下純一	
	監 査 委 員	飯尾清				
町長の委任を受けて出席した者の職氏名	副 町 長	佐々木敏治		会 計 管 理 者	芳賀均	
	総 務 課 長	高橋豊		町 民 課 長	(芳賀均)	
	産業振興課長	副島俊樹		建 設 課 長	清水光明	
	保健福祉センター次長	丹野景広		国保関寛斎診療所事務長	(丹野景弘)	
	総務課参事	高橋直人		総務課主幹	空井猛壽	
教育長の委任を受けて出席した者の職氏名	教 委 次 長	有田勝彦				
農業委員会会長の委任を受けて出席した者の職氏名	農委事務局長	棟方勝則				
議 事 日 程	別紙のとおり					
会議に付した事件	別紙のとおり					
会議の経過	別紙のとおり					

◎議事日程

日程	議案番号	件名
1		会議録署名議員の指名
2	議案第13号	平成31年度陸別町一般会計予算
3	議案第14号	平成31年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計予算
4	議案第15号	平成31年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算
5	議案第16号	平成31年度陸別町簡易水道事業特別会計予算
6	議案第17号	平成31年度陸別町公共下水道事業特別会計予算
7	議案第18号	平成31年度陸別町介護保険事業勘定特別会計予算
8	議案第19号	平成31年度陸別町後期高齢者医療特別会計予算

◎会議に付した事件

議事日程のとおり

◎開議宣告

- 議長（宮川 寛君） 多胡議員より、欠席する旨届け出がありました。
多胡農業委員会会長より、欠席する旨報告がありました。
これより、本日の会議を開きます。
-

◎日程第 1 会議録署名議員の指名

- 議長（宮川 寛君） 日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、6 番渡辺議員、7 番谷議員を指名します。
-

- ◎日程第 2 議案第 13 号平成 31 年度陸別町一般会計予算
 - ◎日程第 3 議案第 14 号平成 31 年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計予算
 - ◎日程第 4 議案第 15 号平成 31 年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算
 - ◎日程第 5 議案第 16 号平成 31 年度陸別町簡易水道事業特別会計予算
 - ◎日程第 6 議案第 17 号平成 31 年度陸別町公共下水道事業特別会計予算
 - ◎日程第 7 議案第 18 号平成 31 年度陸別町介護保険事業勘定特別会計予算
 - ◎日程第 8 議案第 19 号平成 31 年度陸別町後期高齢者医療特別会計予算
-

- 議長（宮川 寛君） 日程第 2 議案第 13 号平成 31 年度陸別町一般会計予算から日程第 8 議案第 19 号平成 31 年度陸別町後期高齢者医療特別会計予算まで、7 件を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

野尻町長。

- 町長（野尻秀隆君）〔登壇〕 議案第 13 号平成 31 年度陸別町一般会計予算ですが、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 43 億 1,301 万 7,000 円と定めるものであります。

続きまして、議案第 14 号平成 31 年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計予算です

が、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ3億9,140万5,000円と定めるものであります。

続きまして、議案第15号平成31年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算ですが、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ3億3,118万9,000円と定めるものであります。

続きまして、議案第16号平成31年度陸別町簡易水道事業特別会計予算ですが、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億6,692万2,000円と定めるものであります。

続きまして、議案第17号平成31年度陸別町公共下水道事業特別会計予算ですが、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億7,782万4,000円と定めるものであります。

続きまして、議案第18号平成31年度陸別町介護保険事業勘定特別会計予算ですが、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ2億9,574万9,000円と定めるものでございます。

続きまして、議案第19号平成31年度陸別町後期高齢者医療特別会計予算ですが、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ4,962万4,000円と定めるものでございます。

以上、議案第13号から議案第19号まで7件を一括提案させていただきます。

内容につきましては、副町長から説明申し上げますので、御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

○議長（宮川 寛君） 佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、議案第13号から19号まで一括して説明をさせていただきますと思います。

まず、1ページをお開きください。

議案第13号平成31年度陸別町一般会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算。

第1条、第2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は「第1表 歳入歳出予算」による。

債務負担行。第2条、地方自治法第214条の規定により債務を負担することができる事項、期間及び限度額は「第2表 債務負担行為」による。

地方債。第3条、地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は「第3表 地方債」による。

一時借入金。第4条、地方自治法第235条の3、第2項の規定により一時借入金の最高額は10億円と定める。

歳出予算の流用。

第5条、地方自治法第230条第2項、ただし書きの規定により、歳出予算の各項の経

費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。第1号、各項に計上した給料、職員手当及び共済費（賃金に係る共済費を除く。）に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

それでは、資料のナンバー14をお開きください。

資料ナンバーの14は、31年度一般会計における各課別の歳入歳出予算の資料となっております。総務課でいけば、31年度においては、歳入が28億3,665万4,000円、歳出が21億5,637万4,000円で、差し引き6億8,028万円の増となります。

一方、30年度を差し引きをして、左側に歳入比較ということで、歳入では1億9,340万5,000円の減額。歳出も同様に5,161万2,000円の減額ということに、各課ごとに31年度の歳入歳出の比較と前年度の比較を表にしております。下にございますが、1番目にまず、歳入歳出差引額で、総務課は交付税関係が一般財源として入ってきますので、その分で歳入がふえるのがこれ当然。町民課においては、町税関係が入ってきますので、これも一般財源ですけれども、それらが入ってくるので、歳出よりも上回っていると。それ以外が、各課ごとに入ってくるものが、全て特定財源ということになりますので、あらかじめ御了承いただきたいと思っております。

2番目の歳入ですが、基金繰入金は全部総務課で計上しております。

歳出、総務課において特別職・一般職の人件費、基金積立金、特別会計操出金、消防費、公債費を含んでございます。

それでは、予算書の歳出40ページをお開きください。

予算書、歳出40ページです。

3点、冒頭に申し上げたいと思っておりますが、まず1点目は、人件費に係る給与費明細書は、171ページから176ページにつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。資料ナンバー56に、課目別の職員数調べをつけております。31年度から、御存じのとおり一般廃棄物の十勝広域化がスタートをします。それに伴いまして、ごみ処理に係る、特に事業系の一般廃棄物処理手数料につきまして、一般会計、特別会計含めて、各担当が直接ストックヤードに搬入する、そういう手数料を12節で計上しておりますので、随時説明していきますけれども、そういう新たに一般廃棄物処理料が計上されていると、そういったことで御理解をいただきたいというふうに思っております。

1款議会費、1項1目議会費ですが、本年度5,457万6,000円であります。議員8人、職員2名の人件費、それから議員の報酬・共済費関係、あとは町議会の活動に係る予算を計上してございます。

次、42ページ、2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費になります。本年度2億2,537万9,000円でございますけれども、総務課でいけば企画財政室が4,496万2,000円。内容としては、庁舎の電算システム関係、庁舎の消耗品、複写機使用料関係が主な内容でございます。総務担当においては、1億7,523万7,000円。人

件費1億5,991万6,000円を含んでございます。職員研修、職員健康診断、公債費などが内容でございます。総務課管財防災担当については3万9,000円の計上。町民課戸籍住民担当で514万1,000円の計上をしております。マイナンバー制度関係に係る負担金関係が、主な内容でございます。2節給料から4節共済費までは、職員人件費ですが、手当の中で、43ページの一番下でございます退職手当組合1,963万9,000円。これは、御存じのとおり平成28年度から30年度、3年間の退職金の精算納付金もこの中に含んでございます。7節賃金から9節旅費、10節交際費、11節需用費、12節役務費、13節委託料、19節負担金補助及び交付金までは、例年同様の計上でございます。11節需用費、消耗品で1,080万5,000円でございますが、この中には、電算システムのWindows7から10にサポートが来年1月で終了しますけれども、それらに係るライセンスなどの購入、471万3,000円を含んでございます。12節役務費の廃棄処理4万4,000円ですが、これはWindows7から10になるパソコン80台、それとプリンターなどの廃棄処分費でございます。

46ページ、19節負担金補助及び交付金ですが、下から二つ目、北海道自治体情報システム協議会。これは、資料ナンバー16をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。その下、地方公共団体情報システム機構416万7,000円につきましては、マイナンバー制度における中間サーバーの運用負担金359万1,000円。それから、通知カード、個人番号カードの委託費の負担金53万1,000円がでございます。この53万1,000円については、歳入で同額が入ってくる予定でございます。

47ページの23節償還金利子及び割引料、譲渡事業償還金1,000円計上しております。御存じのとおり、Windows7がサポート終了するということで、庁舎用のパソコン80台分、419万1,000円を備荒資金組合から貸し付けを受けて、5年間で償還をするということで予算を計上しております。この1,000円については、利率分0.02%の利息分、737円でございます。後ほど、教育委員会のほうの小学校費関係でも出てきますので、そこで資料関係について説明をしたいと思います。なお、利息0.02%については、2月28日現在の利率でございまして、情報によりますと4月から利率が改正になって、少し上乘せになると、そういうことの情報が入ってきております。その率が、改正によって予算に不足が生じれば、今後の議会の中で予算計上して、お願いをしていきたいというふうに思っております。2目文書広報費3,320万2,000円ですが、これは、総務課総務担当が320万8,000円でございます。これは12節役務費の通信運搬費、郵便料が総務課においては、309万8,000円。町民課の広報広聴で2,999万4,000円が、この文書広報費の中でございます。ほとんどが、町民課の広報広聴担当の予算になるということになります。15節工事請負費の機器更新工事2,508万6,000円、これは防災行政無線の整備工事でございますが、資料ナンバー17をお開きください。資料ナンバー17、これは昨年度も添付してございますが、防災行政無線（愛の鐘）の整備事業でございます。平成31年度においては2,280万5,000円で、消費

税を入れますと2,508万5,500円ということになります。場所は3基でございますが、新町1区、共栄第1、緑町、この3自治会の防災無線子局を整備します。今、参考までに申し上げますが、平成32年度に同額、これは概算で出しておりますが、平成32年度においては若葉町と東1条2区、新町2区を予定しております。この事業については、平成32年度で終了を予定しているところでございます。

予算書48ページをお開きください。3目財政管理費65万4,000円については、予算書の印刷80部でございます。4目会計管理費11節需用費68万2,000円、印刷製本費は、決算書の印刷80部でございます。12節役務費295万3,000円は、手数料関係でございます。5目財産管理費1億2,837万円の計上でございます。内容としては、総務課が1億826万4,000円。内容としては、庁舎管理、財産管理、りくべつ鉄道関係、基金、福祉館、総務課管理の公用車の維持管理が主な内容です。町民課が1,897万3,000円。これは、地積図関係、それからテレビ中継局、地デジの光ケーブルなどの維持管理が内容です。それから、教育委員会がございまして、タウンホールの管理で113万3,000円ほど計上しております。4節共済費134万9,000円。7節賃金457万4,000円、これは公用車の管理専門員の賃金でございます。9節旅費から11節需用費、12節役務費、13節委託料までは前年同様の計上ですが、50ページの一番上、廃棄処理17万1,000円でございます。これは、森林組合に貸し付けしている事務所がございまして、そこの照明の中でPCBを使用している照明がございまして、その廃棄手数料が17万1,000円でございます。一つ飛んで、ごみ処理手数料13万2,000円。先ほど説明をさせていただきました。これは、事業系一般廃棄物処理の手数料になります。中身としては、まず総務課の総務担当の庁舎用のごみの処理料、これが11万5,000円。管財防災の町有地などの不法投棄のごみがございまして、その手数料が1万7,000円となっております。13節委託料5,377万3,000円ですけれども、2段目の施設設備と改修930万3,000円。これは、光ケーブル、北電柱30本、NTT30本の取り付け業務、それから新規にですね、テレビ中継局の空中線鉄塔の塗装補修業務がございまして、338万6,000円ですが、実は、このテレビ中継局は、昭和57年に開局して設置されておりますけれども、それ以降、現在まで塗装補修は一切されていなかったということで、大分さびがひどくて、維持管理をしている業者、点検をしている業者から指摘がございまして、今回、予算を計上させていただきました。その上の施設設備等改修930万3,000円の中に、今言ったテレビ中継局の塗装、それともう一つは、道営事業のトナム地区工事に係る光ケーブル移設業務67万5,000円がございまして。

森林組合の事務所のPCBの照明の取りかえ2万5,000円がこの中に入っております。施設周辺整備540万1,000円ですが、これはりくべつ鉄道の維持管理、今回新たに商工会からの要望もございましたけれども、駅郊外の枕木の交換業務を年次計画を立てて実施をお願いしたいという要望がございまして、平成31年度、旧金澤踏切から百

恋駅まで1.6キロメートル、枕木交換100本を予定をしております。なお、計画的に年次契約で実施していきますけれども、最終地は旧分線駅までを予定しております。毎年100本から200本の交換をしていくということで、平成31年度については枕木100本を予定しております。

51ページ、廃棄物運搬委託業務、これは36万9,000円。これは新規でございます。これは、先ほど説明しました森林組合事務所のPCBを使用している照明の廃棄業務でございます。室蘭の処分場まで運搬をするという内容でございます。13節委託料で、下から二つ目のタウンホール管理で、設備保守管理96万2,000円ですが、この中には、2年ごとに実施している移動観覧席の保守業務24万9,000円も含んでございます。52ページ、15節工事請負費りくべつ鉄道広場整備で170万3,000円。これは、旧駅構内の1番線の補修工事でございます。設備改修工事、防火水槽改修工事45万6,000円ですが、実は、昭和46年の10月に設置しました、一つは、若葉生きがい交流館の裏側にある防火水槽、それからもう一つは、小利別の旧教員住宅の横にある防火水槽の補修工事として、蓋などが大分、経年劣化しているということがございまして、蓋などの補修工事でございます。53ページ、18節備品購入83万3,000円につきましては、役場庁舎の事務用椅子15脚、タウンホール用の掃除機1台の購入の予算でございます。25節積立金3,775万3,000円ですが、財政調整基金からふるさと整備までは利息分、いきいき産業支援基金積立金3,651万9,000円につきましては、利子が89万2,000円、優良家畜の貸付金の定期償還額が3,388万2,000円、農協の優先出資の配当金が80万円、農業機械の貸付収入94万5,000円。これは、平成25年度に購入してコンテナに貸し付けをしている真空播種機などがございます。ふるさと銀河線から給食センターまでは、利子分でございます。

なお、資料ナンバー3で、平成30年度末の基金残高を添付しておりますが、今の時点での平成31年度末の基金残高の見込みとしては45億2,868万円ほどの見込みとなっております。次のページ、スポーツ振興基金の積立金についても、利息分6,000円でございます。6目の町有林野管理費4,276万9,000円ですが、資料ナンバー18-1に町有林管理事業収支一覧、18-2に町有林管理事業実施箇所図をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。御存じのとおり、平成30年でヤツバキキンムシの対策事業は終了してございまして、森林組合と協議をする中で例年の事業ベースに戻す内容の予算となっております。管理事業、箇所図等参考にさせていただいて、見ていただきたいと思っておりますが、特に2節役務費で下から2行目の森林環境保全整備事業（町有林）3,102万2,000円ということで、前年度から見ると414万5,000円ほどの増となっております。

55ページ、13節委託料327万5,000円のうち、森林現況調査業務231万円。これは、御存じのとおり町有林の拡大事業でございまして、平成31年度では、町への売却を意志表示している方が6名ほどございまして、面積としては62.5ヘクタール

でございます。なお、平成30年度までに町有林を購入した面積は、148.7ヘクタールでございます。寄付も4件ござまして13.9ヘクタール。合わせまして、162.6ヘクタールが平成30年度まで町有林を拡大をしていると、そういう内容でございます。7目の企画費でございますが、まず、総務課で4,453万円。企画財政室で1,701万8,000円です。内容としては、経常的な経費69万5,000円。第6期総合計画の事業が460万4,000円、まちづくり推進事業で31万2,000円、ふるさと会旅費で12万8,000円、東京事務所の開設事業で55万7,000円、地域交通確保事業で1,050万6,000円、空き家対策で12万1,000円、地域活性化対策事業で9万5,000円の内容でございます。チャレンジプロでは2,751万2,000円を計上してございます。ふるさと納税促進事業341万6,000円、交流人口対策16万円、日本ハムファイターズ応援大使関係で52万2,000円、移住交流定住促進事業で470万1,000円、移住産業研修センターで951万6,000円、地方版総合戦略関係で39万5,000円、地方創成推進事業で423万円、新農林業の人材発掘プログラムで457万2,000円となっております。

産業振興課の商工業担当で170万9,000円。これは、小利別の寒地研究所の建物の保険料が4,000円、しばれ研究所への補助金97万5,000円、道の駅の負担金関係で10万、サマーインりくべつで63万円の内容でございます。それでは、4節共済費の150万3,000円、次のページの7節賃金546万5,000円ですが、実は、平成30年度まで地域おこし協力隊であった方が、平成30年度で満了しました。平成31年度からは、移住産業研修センターの調理人の賃金ということで、その賃金が529万1,000円。代替分が17万4,000円の内訳となっております。8節報償費39万7,000円のうち、謝礼金28万9,000円ですが、日本ハムの応援大使の関係については、資料ナンバー19をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。謝礼28万9,000円の内訳としては、日本ハムファイターズの応援大使が11月下旬に陸別町に来られるということで、そのイベントに係る司会者の謝礼が3万円、地方版総合戦略検討会の委員の謝礼金が17万2,000円、空き家対策審議会委員の謝礼金が8万7,000円、これは3回分です。記念品ですが、10万8,000円については、札幌ドームで行われる日本ハムの試合、3試合において勝ったときのヒーロー賞として陸別町から6万4,800円ほど、大体1試合につき2万1,000円ぐらいのものをヒーロー賞として出すと。それから、応援大使2名が陸別町に来られたときの記念品として4万3,000円ほど見てございます。従って、応援大使の関係する予算については、報償費8節で13万8,000円。旅費で3万3,000円。需用費で25万7,000円。14節使用料及び賃借料で9万4,000円。合わせて52万2,000円でございます。

11節需用費から12節役務費、13節委託料、14節使用料及び賃借料については、ちょっと暮らし住宅2戸、東1条とそれから恩根内、それから共栄第一のモデル住宅1戸、それから旭町の旧森林管理所のアパート、それから移住産業研修センター共有部分に

係る維持管理費が主な内容でございます。12節役務費で60万6,000円のうち、57ページの口座振替9,000円、決済システム利用7万円、13節委託料の一番下ふるさと納税業務委託334万4,000円。これは、ふるさと納税に係る予算でございます、341万6,000円です。ふるさと納税業務に係る資料については、ナンバー20をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

同じく、一つ上の新農林業人材発掘プログラム実施457万2,000円。これについては、平成31年度も予定をしております。平成28年度から実施しまして、4年目になりますが、昨年は9月2日から9月7日で女性9名が来町をして、酪農、搾乳とか林業の枝はらいですとか、重機の関係、北勝光生会などで職場体験をしております。大学生は、慶応大学、大阪大学、東北大学、東洋大学から女性9名が来て、去年の意見交換会の中では、地方の町と第1次産業とのかかわりというのは、すごく強いと。東京にいれば当たり前の生活が、何か不思議なというようなそういう産業というものと、中山間地域の産業と都市圏の生活の違いをこの学生方が意見として出してきて、すごく地方に関心を持ってきているなと理解をしております。できれば、今まで来られた学生が、社会人になってそういうネットワーク化をつくって、陸別応援団みたくなれば、またいいのかなとそういうふうに思っております。

その上の総合計画策定支援業務460万4,000円については、第6期総合計画に係る基本構想案ですとか、基本計画案のたたき台、素案の印刷・作成の委託料でございます。14節使用料及び賃借料からは、例年どおりの計上ですし、19節負担金補助及び交付金についても例年どおりの計上です。59ページ、地方創成推進交付金事業負担金423万円。

資料ナンバー21の1をお開きください。資料ナンバー21の1です。これは、地方創成推進交付金事業説明資料ということで、これは昨年も添付をしております。（仮称）銀河の里DMO、観光地域づくり連携事業ということで、これは池北3町の広域連携事業でございます。この事業については、平成28年度から実施をしております、平成32年度でこの事業が終了する予定でございます。この下の表にございますように、まず陸別町が関係する部分、平成31年度分については、まず地域製品の販路拡大実証事業（独自販売ルート構築）で、陸別町は70万円の負担。③の3町地場産品を活用した新たな食ブランド構築事業、陸別町が50万円。④の圏域周遊モデルルート開発事業が100万円、拠点施設等魅力創出事業が100万円。合わせて320万円でございます。この2分の1、160万円が補助金として入ってくると、そういう内容でございます。

次、21-2をお開きください。次のページです。これは、十勝アクティブシニア移住交流促進事業ということで、平成29年度から平成31年度、平成31年度で終了しますが、これは、交付金事業も平成31年度で終了するということになります。陸別町は、10万円の負担ということでございます。平成31年度の事業としては、十勝東北部移住サポートセンター事業と陸別単独事業でございますが、その右の移住を応援する会事業でこ

ございます。まず、①の学びのニーズ等の現状把握、負担金が20万円。これは、移住フェアでやる面談調査などございまして、単独事業として町はフェア参加旅費22万1,000円。ブース借上料40万円。②の効果的な情報発信ということで、町の魅力や移住の取り組みなどホームページや情報移住専門誌に掲載し、町の認知向上や云々でございます、これが14万4,000円。その下、ふるさと回帰支援センターに3町連携した専用ブースを設置して、情報発信をすると、これが52万6,000円の負担。受け入れ事業の実施ということで、陸別町6万円の合わせて93万円です。先ほど言いました、21-1で言った320万円。今の93万円。それと十勝のシニア移住交流事業については、10万円。合わせると423万円です。これに、町単独事業分62万1,000円を足して、485万1,000円ではありますが、この2分の1、242万5,500円が国の補助金として入ってくると、そういう内容でございます。

それでは予算書59ページをお開きください。交付金の中で、移住交流対策事業94万円。これは、先ほど説明しました移住を応援する会への交付金です。その下、地域交通利用促進事業312万4,000円については、バス利用の3分の2の助成でございます。なお、平成29年度末の利用者数は1,901件の2,208人ですが、ことし1月末現在では、1,755人の利用で1,532件となっております。交付金の中で、通学定期差額補助734万円を計上しておりますが、これは高校生の通学定期でございまして、28人分を計上してございます。北見方面が10人、足寄が15人、本別が2人、置戸が1人の28名でございます。公平委員会については、例年どおりの計上でございますし、9目交通安全対策費、60ページについても例年どおりの計上です。10目諸費については、8節報償費で名誉町民の年金30万円を含んでございます。なお、平成30年度当初においては、開町100年の記念事業費を町功労者関係表彰も全部そちらに振りかえをしましたが、平成31年度においては、町功労者表彰関係についても、この諸費のほうで予算を計上しております。19節までは、例年どおりの計上でございます。11目交流センター管理費3,213万2,000円の計上ですが、資料ナンバー22に資料をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思っております。7節賃金の234万円から11節需用費、12節役務費、13節委託料、14節使用料及び賃借料まで例年どおりの計上でございます。

62ページ、12節役務費でごみ処理手数料4万1,000円、これも事業系一般廃棄物として、オーロラハウスと物産館、その中の一般廃棄物の手数料ということになります。13節委託料で、宿泊研修施設管理1,569万3,000円ですが、工事などの減少に伴い、宿泊者も減少してございまして、対前年比で523人ほどの減員で予算を計上してございます。次のページ、12目銀河の森管理費7,560万円ですが、資料ナンバー23に委託料の内訳をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思っております。7,560万円ですが、天文台関係が4,960万4,000円、コテージ村関係が1,815万6,000円。銀河の森専用水道関係が784万円の内訳となっております。館長の報

酬48万円ですが、昨日の議会で条例案を議決いただきました。その金額を計上してございます。2節給料から4節共済費、7節賃金、12節役務費、9節旅費、11節需用費、12節役務費までは、例年の計上でございます。ただ、修繕料で130万4,000円を見ておりますが、これは、コテージ村のトイレ2個のウォシュレットの修繕、コテージ村の台所の換気口2個の修繕41万4,000円を含んでございます。13節委託料3,569万3,000円ですが、施設設備保守管理で470万6,000円。これはコテージ村の消防用施設の設備点検が19万7,000円。それから、天文台大型望遠鏡ドーム開閉機械交換、これがGPS点検などもございますが、209万1,000円でございます。その下、施設設備等改修107万6,000円については、銀河の森専用水道の滅菌設備更新でございます。次亜塩素注入ポンプ2台、貯留槽1基の改修の委託料でございます。

次のページ、15節工事請負費、水道工事、これは銀河の森の専用水道ですが、昨年も予算を計上しておりますが、配水管の布設替え工事でございます。延長130メートルでございます。18節備品購入費で、管理用備品85万1,000円ですが、天文台プラネタリウム、コテージ村IHクッキングヒーター2個などの購入が主な内容でございます。67ページの13目地域活性化推進費2,496万1,000円です。資料ナンバー25に活性化事業、チャレンジプロの資料をつけてございますので、後ほどごらんいただきたいと思います。内訳としては、活性化推進専門員487万円、4節共済費で39万4,000円、7節賃金で390万6,000円、9節旅費で41万3,000円、11節需用費で3万6,000円、14節使用料及び手数料で2万1,000円。ミネラルウォーター開発事業で198万円です。12節役務費で9万円、13節委託料で189万円。平成31年度は、ミネラルウォーター「百恋水」は、1万6,000本の製造を予定してございます。薬用植物研究事業251万6,000円です。8節報償費が5万円、11節需用費が74万4,000円、12節役務費が32万5,000円、13節委託料64万円、14節使用料が35万6,000円、18節備品購入費が3万1,000円、19節負担金補助及び交付金が37万円です。

地域おこし協力隊4人分、1,559万5,000円を計上してございます。商工観光推進員が457万5,000円、4節共済費が84万5,000円の7節賃金313万1,000円、9節旅費が38万円。11節需用費が6万9,000円、8節備品購入費が13万円。19節負担金補助及び交付金が2万円です。新事業支援推進員490万5,000円。これは新事業は薬草関係でございます。4節共済費が90万9,000円、7節賃金327万7,000円、9節旅費が50万1,000円、11節需用費が8万円、13節委託料が6万5,000円、18節備品購入費が5万3,000円。19節負担金補助及び交付金が2万円です。酪農支援推進員1名分314万4,000円。4節共済費が61万8,000円。7節賃金が230万6,000円。9節旅費が15万円。11節需用費が7万円です。商工支援推進員297万1,000円。4節共済費が58万5,000円。7節賃金が209万円。9節旅費が7万7,000円。11節需用費が8万9,000円。18節

備品購入費が13万円です。なお、地域おこし協力隊につきましては、1人当たり人件費等含めて400万円まで特別交付税措置がございます。

次のページにいきます。12節役務費で製品検査31万6,000円、これは薬用植物の関係でして、6品目の製造の検査・分析の手数料でございます。その下、13節委託料の特産品試作製造12万6,000円については、ニンジンの飴の試作品を製造を予定しております。2回分でございます。オオギ葉の茶、ティーパック詰め、これも試作を予定しております。薬用植物管理委託47万9,000円。これは新町2区の加工センターの裏側でございますが、あそこに高規格道路のインターチェンジと除雪センターができる予定でございます。そこに、キハダを植えておりましたけれども、工事にかかるということで、測量は既に入っております、工事が入りますが、それにキハダを植えておまして、それを200本を移植するという委託料47万9,000円です。補償費としては、同じ47万8,000円が、歳入として入ってきます。

69ページ、ミネラルウォーター製造189万円。これは1万6,000本の製造になります。製品検査委託に5万4,000円。これはオオギの葉茶の検査でございます。その下、看板作成委託4万6,000円。これは金額が小さいのですが、ホウの木を植樹する町有林の、宇遠別を予定しておりますが、そこにホウの木を200本植樹する予定でして、その看板とホウの木でございます。ニトリの応援基金の看板ということで、その助成を受けるためにその看板をつけるということになります。14節使用料及び賃借料の47万7,000円の中で、一番下、作業用機械借上料35万6,000円。これは薬草のユニットハウスを夏場借り上げをして作業用物置として使いたいと、収穫した薬草関係の保管などが主な内容でございます。18節備品購入費で、事務用備品31万3,000円は、地域おこし協力隊員3人用のパソコン3台が主な内容でございます。

次のページ、2項徴税費、1目税務総務費、2節給料から23節償還金利子及び割引料までは、例年どおりの計上でございます。2目賦課徴収費、これも9節旅費から19節負担金補助及び交付金まで例年どおりの計上ですが、13節委託料で固定資産鑑定評価、72ページです、委託料、固定資産鑑定評価145万2,000円。これは新規でございますが、実は平成33年度から固定資産の評価がえ業務がございます、それに係る委託料。19節負担金補助及び交付金の一番下、十勝複合事務組合49万7,000円は、十勝税滞納整理機構への引き継ぎ負担金でございます、件数としては5件、税金としては132万6,560円を引き継ぐと、そういう内容でございます。3項戸籍住民基本台帳費1目戸籍住民基本台帳費は、2節給料から、次のページの11節需用費までは、例年どおりの計上です、74ページ、13節委託料で電算機器設置77万3,000円です。これは、平成25年度に導入した住民基本台帳機器の更新であります。それに係る機器更新の業務が77万3,000円。それと19節負担金補助及び交付金の中に、そのネットワーク機器の更新に係る負担金92万4,000円が19節負担金補助及び交付金の中に含んでございます。19節負担金補助及び交付金で、この内訳としては、1,481万2,000

0円の内訳は、先ほど説明した内容にございますが、戸籍システムに係る分が1,304万3,000円ほどございます。住基システム分で176万9,000円でございます。なお、昨日、議決いただきました戸籍事務の委託と関係もございますけれども、その負担金が1,304万3,000円の中に含まれています。平成32年度からになりますけれども、情報システム協議会には戸籍事務の関係が1,304万3,000円でございます。4項選挙費1目選挙管理委員会費のほうは、1節報酬から19節負担金補助及び交付金まで、それから2目選挙啓発費についても例年どおりの計上です。3目の知事・道議会議員選挙費227万1,000円ですが、御存じのとおり知事選挙については、告示が3月21日、道議が3月の29日で投開票日が4月7日でございます。1節報酬から14節使用料及び賃借料までの計上でございます。

77ページの4目町長・町議会議員選挙費531万4,000円。これも町長・町議選との告示が4月16日、投開票日が4月21日でございます。1節報酬から14節使用料及び賃借料、次のページの使用料及び賃借料まで計上してございます。5目の参議院選挙費432万4,000円。同額を歳入として、委託料が国のほうから入ってくると見ておりますが、今の予定としては7月4日が公示で、7月21日が投開票日という報道がされてございます。1節報酬から14節使用料及び賃借料まで計上してございます。

次のページ、80ページ、5項統計調査費の1目指定統計調査費102万9,000円です。11節需用費から14節使用料及び賃借料まで計上しておりますが、平成31年度においては、経済センサスと農林業センサス、工業統計の三つの統計がございます。それとあわせて平成32年度は、国勢調査の年になりますので、それに係る費用8万円がこの中に入っております。6項監査委員費1目監査委員費206万円については、1節報酬から19節負担金補助及び交付金までは例年どおりの計上、81ページ、3款民生費。

○議長（宮川 寛君） ストップしてください。

11時10分まで休憩いたします。

休憩 午前10時55分

再開 午前11時09分

○議長（宮川 寛君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、81ページの3款民生費から説明をさせていただきます。

1目の社会福祉総務費3億8,266万6,000円ですが、1節報酬から次のページ、13節委託料までは例年どおりの計上でございます。82ページ、8節報償費で謝礼金9万3,000円ございますが、この中には、手話通訳・要約筆記者の1名分3万5,000円。83ページ、13節委託料の2行目、手話通訳者・要約筆記者派遣7万2,000円が関係する予算でございます。社会福祉総務費の中では、からまつハウスの維持管理費もございまして、41万9,000円ほどございます。11節需用費で33万4,000円、

12節役務費で3万8,000円、13節委託料で4万7,000円でございます。

83ページ、15節工事請負費につきましては、防犯灯新設・撤去工事192万2,000円ですが、これは若葉町の防犯灯と町内の撤去費用関係の工事請負費となります。19節負担金補助及び交付金については、まず84ページとなります。一番上の社会福祉協議会3,298万4,000円、これは資料ナンバー26をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。職員4人分の人件費と移送サービス訪問介護事業が内容でございます。20節扶助費1億9,642万4,000円ですが、医療扶助費で重度心身障害者、ひとり親家族等、子どもについては、例年どおりの計上。交通費助成高齢者の320万円。これは平成31年度は対象者が724人、9,482人の利用を見込んでございます。なお、資料ナンバー27をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。対象者については、平成30年度から見るとマイナス5人、延べ利用者数でいくと139人の減となります。地域生活支援事業費ですが、137万5,000円。これは、成年後見制度の利用支援10万円を含んでございます。日常生活用具貸付事業が121万4,958円の33人、それから移動支援事業が20回、先ほど言いました成年後見人制度利用支援事業が内容でございます。その下の障害者介護給付費9,203万4,000円については、全体で55名でございますが、生活介護が27名、施設入所者が22名、療養介護が2名、居宅介護が3名、短期入所が1名の合計55名でございます。

85ページ、障害者訓練等給付費6,577万1,000円については、全体で45名でございます。内容としては、日中活動が22名、宿泊自立訓練が1名、共同生活援助が22名でございます。その下の相談支援給付費159万9,000円は、59名分でございます。その下、身体障害者更生医療給付費1,361万5,000円は、9人分でございます。その下、身体障害者補装具交付費は、64万5,000円は、7人分。療養介護医療費135万5,000円は、2人分でございます。28節操出金は、国民健康保険会計の操出金が2,975万9,000円。介護保険会計操出金が4,381万3,000円でございます。2目老人福祉費ですが、この科目では居宅介護支援事業所を設置をしております、この経費が564万5,000円でございます。4節共済費で115万4,000円。7節賃金、これは嘱託員賃金になりますが368万3,000円。9節旅費で6万7,000円。11節需用費で48万9,000円。12節役務費で4万2,000円。13節委託料で20万1,000円。19節負担金補助及び交付金で10万円の内訳となります。8節報償費で137万7,000円ですが、報償金で2万7,000円。これは成年後見実施機関運営協議会委員の謝礼・報償金として、資料ナンバー28-2をつけております。それを、後ほどごらんをいただきたいと思っております。その下、謝礼金10万円については、高齢者問題の徘徊ですとか、虐待ですとか、そういう研修会の講師謝礼金でございます。敬老祝い金125万円、昨年度から見ると26万円ほどふえております。喜寿が48人、米寿が19人、長寿が2名でございます。老人福祉費については、施設管理費の予算も見ておまして、介護予防拠点施設「ふれあいの里」ですが、その維持管理費が120万1,0

00円、11節需用費で101万円、12節役務費で9万1,000円、13節委託料で7万4,000円、14節使用料及び賃借料で2万6,000円です。高齢者福祉施設管理事業として、これは「福寿荘」ですけれども、維持管理費として2,662万7,000円を計上してございます。11節需用費で652万3,000円、12節役務費で27万1,000円、13節委託料で1,980万7,000円、14節使用料及び賃借料で2万6,000円です。

高齢者交流センターの管理事業が99万8,000円、11節需用費で77万8,000円、12節役務費で9万6,000円、13節委託料で9万8,000円、14節使用料及び賃借料で2万6,000円、老人健康増進センターの管理費が72万8,000円でございます。4節共済費で1,000円。7節賃金で4万3,000円、11節需用費で57万5,000円、12節役務費で5万9,000円、13節委託料で5万円。この三つの施設の維持管理費合わせて2,955万4,000円が、この老人福祉費の中に入っております。

11節需用費、消耗品82万6,000円の中の4,000円。食糧費323万8,000円の中の1万8,000円、合わせて2万2,000円については、地域介護予防活動支援事業として「ほっとカフェ」の経費でございます。

次のページになります。13節委託料2,691万4,000円ですが、3行目の施設等管理運營業務1,854万1,000円。その下、高齢者在宅支援事業生きがいホーム通所429万7,000円の、これもNPOへの委託費になります。施設設備改修で60万5,000円でございます。これは、昨年10月9日に「福寿荘」で入居者の防災訓練をしました。その中で、入居者が部屋にいたのですけれども、警報が鳴っても聞こえない人がいたと。テレビは部屋ではつけていなかったのですけれども、聞こえない人がいたということで、消防署の指導として居室用の火災警報フラッシュライトを9個設置する44万1,000円。「ふれあいの里」との向かいになりますけれども、非常口がございまして、その段差解消ということで、踏み台16万4,000円。これが「福寿荘」の施設設備改修でございます。成年後見制度法人後見支援事業138万7,000円については、資料ナンバー28-1をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

88ページ、賃借料の老人緊急通報システム借上料168万7,000円です。これは、まず月平均で29台分を見てございます。もう一つは、モバイル緊急通報1台。これは、外出時に携帯を持ってもらってGPSの機能がついておりまして、外出中に具合が悪くなったとか、そういった時にボタンを押すとコールセンターに通報されて、救急車の通報をしてもらえると、そういう機器でございまして、一応、使用する方については、登録制で対応したいということで考えてございます。19節で負担金補助及び交付金ですが、デイサービス運營業務1,664万7,000円については、補正予算にもありましたけれども、資料ナンバー6をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

一つ飛んで、介護予防日常生活支援総合事業運営事業404万8,000円については、訪問型サービスAの補助金として、これはNPOへの補助金となります。デイサービス車両更新事業387万7,000円については、デイサービス利用者送迎用の車両を考えてございまして、車椅子対応の車両でございます。その補助金でございます。介護職員資格取得助成事業30万円については3人分。20節扶助費については、町外養護老人ホーム入居者4人分の扶助費でございます。89ページ、3目後期高齢者医療費は、広域連合への負担金、それから操出金でございます。2項児童福祉費1目児童福祉総務費でございます。8節報償費で20万2,000円、これは言語聴覚指導7回分でございます。出産祝い金440万円については、第1子が11人、第2子が10人、第3子が9人、第4子以上が7人、合わせて37人分でございます。11節の消耗品24万円のうち、まず4万2,000円、食糧費9万円、12節役務費の保険料等4,000円については、子供カフェ事業として10回分、合わせて13万6,000円でございます。

次のページ、13節委託料11万8,000円については、療育指導者派遣業務で7回分。20節扶助費ですが、児童施設通所65万6,000円については、社会復帰支援事業就労継続支援B型で帯広120回分、1人、放課後デイサービス帯広12回分で1人、児童発達支援3人、足寄36回分でございます。支援費の障害者介護給付費74万2,000円については、放課後デイサービスが1人、児童発達支援が3人、保育所等訪問支援が3人。その下、相談支援給付費13万6,000円は4人分。身体障害児の補装具28万5,000円は1件。その下、障害者育成医療7万1,000円は1人分。2目児童福祉施設費、保育所の運営費でございます。2歳児が6人、3歳児が14人、4歳児が16人、5歳児が7人、合わせて43人分の園児でございます。2節給料から7節賃金、次のページの8節報償費、9節旅費、11節需用費、12節役務費までは例年どおりの計上でございます。11節需用費の中で、消耗品には紙おむつ用のごみ袋支給19万6,000円も含んでございます。12節役務費の一番下、93ページ、傷害保険4万2,000円、これは新規でございますが、保育所内で園児がけがをしたと、そういった場合に係る保険料でございます。13節委託料の一番下、施設設備改修23万3,000円は、網戸を設置する委託料。94ページ、18節備品購入費56万2,000円については、遊戯室用の多機能加湿器1台の購入です。19節負担金補助及び交付金154万5,000円のうち、保育所の給食費負担金43人分、151万4,000円。20節扶助費48万円が保育ママ1人分の助成。3目児童措置費については、これは児童手当の計上でございます。

3款民生費3項国民年金費については、2節給料から次のページ12節役務費までは例年どおりの計上でございます。

4款衛生費1項保健衛生費1目保健衛生総務費4,928万3,000円ですが、2節給料から12節役務費、次のページの21節貸付金までは、例年どおりの計上です。19節負担金補助及び交付金の中で、98ページですけれども、十勝複合事務組合74万4,0

00円は、看護学院への負担金。補助金では、帯広厚生病院運営事業ですが147万円。これは、平成30年度の確定額を計上してございます。これは、特別交付税措置もございまして、特別交付税の計算の中でこの補助金が変われば、また9月補正ということも考えられますので、あらかじめ御了承をいただきたいと思っております。

21節の貸付金96万円は、医療介護技術職員の養成の学資金で1人分、2目保健衛生施設費3,438万9,000円ですが、まず、これは保健センターの維持管理分が2,926万7,000円。4節共済費が1,000円、7節賃金が16万9,000円、11節需用費が1,528万4,000円、12節役務費が59万3,000円、13節委託料が526万9,000円、14節使用料及び賃借料が14万円、15節工事請負費が764万9,000円、18節備品購入費が16万2,000円です。

公衆浴場の維持管理費が512万2,000円です。事業費が115万9,000円、12節役務費が3万6,000円、13節委託料が392万7,000円でございます。4節共済費から12節役務費、13節委託料、14節使用料までは、例年どおりの、一応保健センター維持管理費と公衆浴場維持管理費を計上してございます、例年どおりの計上でございます。

次のページ、100ページですが、15節工事請負費保健センター改修764万9,000円ですが、これは、平成29年度から継続4年計画でやっております。平成31年度においては、熱源の専用機器の更新であります。18節備品購入費の16万2,000円については、平成16年度に購入した3連式パネルスクリーンの更新でございます。3目予防費1,915万8,000円ですが、ここで、8節報償費で72万7,000円があります。そのうち、謝礼金で72万7,000円ですが、この中には、臨時歯科衛生士分が51万1,000円、臨時の歯科医師分が21万6,000円計上してございます。

議会でも報告させていただいておりますけれども、現在、荒川歯科医師が、5月までは陸別で診療しますけれども、6月から札幌へ転出するというところでございます。歯科検診に支障を来しますので、その臨時の歯科医の謝礼金として、帯広市内から派遣をしていただくと。十勝総合振興局保健所を通して、十勝医師会に要請をして、ある程度もう固まっておりますけれども、臨時で来ていただけると、そういうことで謝礼金を見てございます。1回当たり謝礼金は5万円として、それに車代、帯広ということで3,860円を足して、1回当たり5万3,860円です。その4回分、21万5,440円を見てございます。冬期間もございまして、14節使用料及び賃借料でハイヤー利用料を7万円の2回分を、14万円を見てございます。なお、後ほども説明させていただきますけれども、小学校費、中学校費においても同様に計上しておりますので、あらかじめ御了承をいただきたいと思っております。

11節需用費77万7,000円です、消耗品の中に特定健診用の消耗品として、マルチマーカーソフト35万7,000円を含んでございます。101ページ、13節委託料、検診業務844万9,000円、予防接種業務605万円、これは、資料ナンバー1

から6、29-1から6をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思いません。なお、新規検診事業として、資料にもありますけれども、脳ドック20人分を新規事業として追加計上してございます。14節使用料及び賃借料で、先ほど説明しました臨時医師のハイヤー借上料、賃借料14万円でございます。20節の扶助費、これは償還払いですが、妊婦健康診査費が11万2,000円、道外で受診の場合ですが1人分。インフルエンザワクチン接種費助成18万円は、延べ45人分。次のページ、特定不妊治療費助成金90万円については、1人6回。肺炎球菌予防接種費助成については2万円の5人分。妊婦検診交通費助成金58万8,000円については、15人分の16回。日本脳炎予防接種費助成については4万円、3人の2回。ロタウイルスワクチン助成2万4,000円は、1人3回。不育治療費助成は10万円、1人1回。新生児聴覚スクリーニング検査費助成7万5,000円は、15人分。風疹予防接種費助成が4万4,000円の2人、2回分でございます。4目の環境衛生費は、墓地・火葬場の維持管理費と畜犬等の事務に係る予算を計上しております。4節の共済費から11節需用費、12節役務費も例年どおりの計上ですが、103ページ、中ほどにごみ処理手数料13万2,000円がございます。これは事業系の一般廃棄物処理手数料として、墓地の草刈りの草の搬入をストックヤードのほうへするというので、その費用でございます。

13節委託料で、2段目の墓地周辺整備及び清掃351万円ですが、実は、墓地の手すり階段をつける予算でございまして、墓参道路をずっと上がって火葬場を過ぎていくと、右側に駐車場がございます。山手側に上り坂がございますけれども、あそここのところ、最初のところにまず手すりをつけると。その上のほうに階段と手すりをつけるという内容です。実は、これも本来なら6月になるかと思うのですが、8月のお盆までに間に合わせるとなれば、当初予算に計上して何とか7月までには終わらせて、墓地の参拝される方に負担の軽減をしたいなど、そういう思いで当初予算に計上してございます。18節備品購入費については、火葬場の消火器1本の購入でございます。5目診療所費、直診会計の操出金1億9,084万2,000円ですが、昨年も説明したかと思っておりますけれども、平成30年度では特別交付税と普通交付税で6,776万1,000円ほど算入されておりますので、これは金額が平成31年度も同様に算入されていくのかなど、そのように思っております。4款衛生費の2項清掃総務費、19節負担金補助及び交付金で十勝圏複合事務組合171万5,000円でございます。ただ、4月1日から十勝圏複合事務組合に統合になりますけれども、十勝川の浄化センターの下水道処理施設に当町の汲み取り糞尿を搬入して処理するというのでありますが、それに掛かる負担金でございます。汚水処理施設運用負担金が119万3,000円。中島処理場の廃止分担金が38万円。下水道施設建設負担金が3万4,000円。同じく、その管理負担金が10万8,000円の内訳となります。2目の塵芥処理費、4月1日から御存じのとおり一般廃棄物の十勝広域化がスタートしますが、ごみ処理方法などについて、まずは事業系の一般廃棄物については、昨年の12月20日に町内の事業者の方に説明をしております。あわせて役場内にお

いても、12月17日に説明会をしております。家庭系の一般廃棄物につきましては、町民の皆さんを対象に2月4日から13日まで説明会を開催してございます。それと、合わせて自治会に出向いて説明会も実施をしてきたところでございます。

9節旅費から12節役務費、11節需用費、次のページ、13節委託料、14節使用料、18節備品購入費までは、例年の考え方ですけれども、105ページでゴミ処理手数料160万3,000円、これが新規でございます。これは、町のストックヤードから帯広のクリーンセンターへ搬入する部分の事業系一般廃棄物の処理手数料。それとストックヤードからポントナムにあります処分場、エコシステムへの木くずなどの搬入。その手数料160万3,000円でございます。なお、4月1日から処理体制については、御存じのとおり町内の収集地区は、変更がございません。料金、ゴミ袋についても据え置きでございます。ただ、生ごみの小さい袋はなくなりましたが、料金の改正としては、処理券200円を300円に改正をして、条例改正の議決をいただいております。事業系一般廃棄物の処理料金ですが、1キロ12円を10キロ220円に改正をしてございます。一般搬入ですが、比率はよろしいのですけれども、現在は、従来、偶数の月の日曜日1日でしたけれども、4月以降は、毎月第2・第4の土日、午前中の受け入れに拡大をしております。資源ごみについては、基本的には、ストックヤードで受け入れをして、ストックヤードから足寄下愛冠銀河クリーンセンターへ再資源化するごみについては、搬入をする。それ以外については、全て帯広のクリーンセンターに搬入をするということになります。13節委託料ですが、下から2行目の5,000万円ということになります。18節備品購入費は125万円、これは消火器2本とストックヤードに係る作業用備品120万9,000円でございます。19節負担金補助及び交付金の2,876万1,000円、十勝圏複合事務組合の負担金が1,539万1,000円、一般廃棄物処理負担金1,334万6,000円は、足寄町への負担金です。内容は、銀河クリーンセンター分の維持管理に係る負担金でございます。十勝圏複合事務組合の負担金1,539万1,000円は、主要事業でも説明をさせていただきましたけれども、ことしの4月からは、池北三町と清水町が十勝広域に参加するということですが、陸別町としては、クリーンセンターの運営分担金が850万3,000円。最終処分場の運営分担金が216万8,000円、加入負担金として、クリーンセンター分が337万6,000円、最終処分場の負担金が82万4,000円。この加入負担金については、5年間で納入するという事になってございます。池北三町ともこの加入負担金については、5年間で負担をするということに組合とは協議が整ってございます。施設設備分担金として、クリーンセンター分で52万円の内訳となっております。

4款の衛生費3項水道費1目専用水道、小利別の専用水道に係る予算でございまして、戸数は24戸の38件でございます。11節需用費から12節役務費までは例年どおりの計上ですし、13節委託料でも施設設備保守管理から水道施設運転管理までは、例年どおりの計上。管路移設で112万8,000円ですが、これは平成11年に道営中山間整備

事業、銀河地区で整備をした小利別の1号減圧水槽配電管の移設でございます。延長が100メートルでして、これは道営事業の装置整備事業をやっておりますけれども、それに支障を来すということで、平成31年度にその移設をするということでございます。水道費については、簡水会計への操出金1億892万1,000円でございます。108ページ、5款労働費、1項労働諸費1目労働諸費ですが、116万2,000円については、4節共済費から19節負担金補助及び交付金までは例年どおりの計上、補助金の中で振動病予防対策事業21万6,000円は、40人分でございます。緊急雇用対策費は、廃目となっておりますが、昨日議決いただきました補正予算で繰越明許費で356万3,000円ほど見てございます。その下、雇用再生対策費、これについても廃目ですが、同様に補正予算で繰越明許費で308万円を計上してございます。

6款農林水産業費、1項農業費、1目農業委員会費については、1節報酬から19節負担金補助及び交付金までは例年どおりの計上でございます。110ページで、13節委託料49万9,000円ですが、これはWindows7から10へのサポート終了に伴うパソコン一式とライセンス一式の更新38万9,000円を含んでございます。2目農業総務費については、職員の人件費、2節給料から4節共済費でございます。3目農業振興費7,280万5,000円ですが、大きなものとしては、中山間地域直接支払事業が主な内容でございます。予算としては6,124万9,000円を計上してございますし、内訳としては、7節賃金で13万円、9節旅費で65万8,000円、11節需用費で5万円、19節負担金補助及び交付金で6,041万1,000円の計上でございます。

113ページ、補助金でございます。農業関係制度資金利子補給事業269万7,000円については、資料ナンバー30をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。農林推進協議会運営事業211万3,000円については、協議会の運営事業が28万円、担い手対策で56万円、廃棄物処理で127万3,000円の内訳でございます。その下の農業経営基盤確立資金利子補給事業35万1,000円と、二つ飛んで、陸別町農業近代化資金利子補給事業326万5,000円については、資料ナンバー31をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。その上の新農業人育成事業47万4,000円も資料ナンバー32をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。その上の農業次世代人材投資資金150万円、これは旧青年就農交付金と同様でございます。4目畜産業費でございます。6,943万2,000円、8節報償費から、次のページ、27節公課費までは例年どおりの計上でございます。21節貸付金の6,000万円については、優良家畜の貸付金でして、資料33をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。5目農地費1億4,982万3,000円ですが、この予算は、道営事業が主な内容になります。まず一つ目は、農業競争強化基盤整備事業、陸別地区草地畜産基盤整備事業でして、資料ナンバー8をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っておりますが、これは、まず予算が5,573万8,000円でございます。7節賃金で25万3,000円、9節旅費で7万8,000円、11節

需用費で15万1,000円、12節役務費で2万9,000円、14節使用料及び賃借料65万円、19節負担金補助及び交付金で5,457万6,000円です。事業費は2億1,800万円の25%分、5,450万円が地元負担金。土地連の負担金が7万6,000円。

繰越明許費分がございます、19節負担金補助及び交付金で6,000万円の25%分、1,500万円です。これは、補正予算で議決をいただいておりますが、平成31年度の事業費として、今、説明しました平成31年度分の現年度分が2億1,800万円の事業費で、繰越明許費の事業費が6,000万円、合わせて2億7,800万円の事業費でございます、その25%分の地元負担分6,950万円の事業となります。

二つ目が、道営農地整備事業、これはトマム地区でございます。事業費が5,504万5,000円です。9節旅費が6万7,000円、11節需用費が7万3,000円、12節役務費が4万6,000円、13節委託料が429万4,000円、14節使用料及び賃借料が8万4,000円、17節公有財産購入費が54万3,000円、19節負担金補助及び交付金が4,993万8,000円です。事業費が2億2,000万円ですので、その22.5%分、4,950万円と土地連負担金4万3,000円の内訳となります。

同じく、道営農地整備事業の中斗満地区ですが3,410万3,000円。9節旅費が7万8,000円、11節需用費が6万2,000円、14節使用料及び賃借料が5万円、19節負担金補助及び交付金が3,391万3,000円です。事業費が1億5,000万円の22.5%、3,375万円の地元負担金と、土地連への負担金16万3,000円です。

道営農道整備特別対策事業の中陸別地区310万7,000円ですが、9節旅費で6万7000円、11節需用費で4万円、19節負担金補助及び交付金で300万円、事業費が600万円の地元負担分50%で300万円です。それ以外の農業施設の管理事業として179万円、これは13節委託料で158万4,000円、16節原材料費で20万円の内訳でございます。なお、資料ナンバー34-1にトマム・中斗満地区、34-2に中陸別地区、34-3に3地区の年度別事業計画をつけておりますので、箇所図と合わせてごらんをいただきたいと思っております。

次のページ、116ページ、13節委託料、用地確定測量等429万4,000円ですが、道営事業トマム地区の延長910メートルの用確、17節公有財産購入費、土地購入費54万3,000円は、畑1,807平米の土地購入費でございます。117ページの一番上、農業競争力強化基盤整備事業負担金5,450万円は、先ほど説明した2億1,800万円の需用費に対する25%分の負担金でございます。これも資料ナンバー8をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。6目の営農用水管理費、これは上陸別地区30戸、37件分の3,231万4,000円。登良利地区18戸、21件分の646万6,000円。それと、道営担い手畑地帯総合整備事業、第2上陸別地区分で3,894万円の予算となっております。

内訳としては、まず上陸別地区3,231万4,000円ですが、11節需用費で227万5,000円、12節役務費で19万1,000円、13節委託料で1,089万1,000円、14節使用料及び賃借料で4,000円、15節工事請負費で1,823万5,000円、18節備品購入費で71万8,000円。登良利地区646万6,000円ですが、11節需用費で166万3,000円、12節役務費で17万3,000円、13節委託料で446万6,000円、18節備品購入費で16万4,000円です。第2上陸別地区については3,894万円ですが、9節旅費で3万4,000円、11節需用費で8万円、14節使用料及び賃借料で21万円、19節負担金補助及び交付金で3,861万6,000円です。地元負担分ですが、事業費が1億円の27.5%で2,750万円と町単分1,096万6,000円、土地連負担金15万円の内訳となっております。これについても、繰越明許費がございまして、繰越明許費5万9,353円ですが、資料ナンバー9と35、同じ資料ですけれども、補正予算では、資料ナンバー9で説明したと思います。その内訳でございますが、11節需用費で2万円、14節使用料及び賃借料で12万6,000円、地元負担金は1億5,340万円の27.5%で4,218万5,000円、町単分1,682万2,000円、土地連負担金が20万円で、合わせて繰越明許費分は19節負担金補助及び交付金は5,920万7,000円です。

平成31年度分の事業費が1億円、繰越明許費分が1億5,340万円、合わせて2億5,340万円の事業費として、その地元負担分が合わせて6,968万5,000円。町単分が平成31年度分が1,096万6,000円、明許分が1,682万2,000円で、町単分が2,778万8,000円となります。全体事業費としては、2億8,118万8,000円の事業ということになります。9節旅費から11節需用費、12節役務費、13節委託料、14節使用料及び賃借料については、15節工事請負費も18節備品購入費、19節負担金補助及び交付金も含めて、今、説明した内訳でございますが、15節工事請負費、配水管新設1,823万5,000円は、上陸別地区の畠野さんから小田さんまでの間の766メートルの配水管の新設工事でございます。119ページの2行目、道営土地改良事業地元負担分3,846万6,000円は、第2上陸別地区の1億円の事業に対する27.5%、2,750万円と町単分1,096万6,000円の内訳でございます。7目公共草地管理費151万3,000円ですが、平成30年度まで実施しておりました15節工事請負費の登良利草地の配電線線路の改修工事は、平成30年度で終了しておりますので、4節共済費から14節使用料及び賃借料までは、例年どおりの計上でございます。

8目の農畜産物加工研修センター管理費1,640万1,000円ですが、2節給料から12節役務費、次のページの16節原材料費までは例年どおりの計上ですが、この中で、農畜産物の製造・販売事業312万6,000円を見ております。4節共済費で2,000円、7節賃金で65万円、9節旅費で3万4,000円、事業費で112万6,000円、12節役務費で15万5,000円、16節原材料費で115万9,000円の内訳でございます。

います。なお、12節役務費で下から2行目、食品衛生法営業許可申請11万3,000円がございませう。これは、7種品目の食品営業許可の更新でございませう。食肉製品製造、菓子製造、味噌製造、総菜製造、食品の冷凍・冷蔵業、食肉販売業、漬け物製造業。この7品目は、平成24年の8月と平成24年の12月に免許を取得してありますが、ことしの9月と来年2月に期限が切れますので、その更新でございませう。それが11万3,000円となります。その下、生ごみのごみ処理手数料3万円がございませう。新規でございませう。

122ページ、6款農林産業の2項林業費1目林業振興費でございませう。1節報酬から124ページまでは、例年どおりの計上でございませうが、まず、9節旅費で123ページの旅費、普通旅費3万4,000円、それから、その前のページの7節賃金42万8,000円、11節需用費の消耗品費49万4,000円のうちの37万5,000円、燃料費の3万7,000円、車両借り上げ料14万8,000円、15節工事請負費2,200万4,000円については、小規模治山弥生地区に係る予算でございませう。合わせて2,302万6,000円でございませう。弥生地区についても平成31年度で完了予定でございませう。資料ナンバー36に箇所図をつけておられますので、後ほどごらんをいただきたいと思ひます。

124ページです。19節負担金補助及び交付金ですが、負担金の下から二つ目、森林整備担い手対策推進事業94万1,000円は40人分。補助金の退職金共済制度加入促進事業156万2,000円については56人分。一つ飛んで、林業長期就労促進担い手対策106万円、これは47人分でございませう。その一つ上、民有林造林促進事業、通称民造ですが、3,336万1,000円、一つ飛んで未来につなぐ森づくり推進事業1,347万2,000円については、資料ナンバー37をつけておられますので、後ほどごらんをいただきたいと思ひます。2目の狩猟費、7節賃金から19節負担金補助及び交付金までは、例年どおりの計上でございませう。125ページの19節負担金補助及び交付金、有害鳥獣駆除従事者育成補助金2名分、7万6,000円を計上してございませう。3目の林道施設改良費4,100万8,000円については、林道改良工事として、陸別薫別支線240メートルでございませう。これも、陸別薫別支線についても平成31年度で完了予定として、全体事業費は3,054万4,000円ですが、7節賃金で42万8,000円、9節旅費で9万円、11節需用費で36万4,000円、14節使用料及び賃借料で35万4,000円、15節工事請負費で2,930万円の内訳となっております。13節委託料141万3,000円については、ポイントマム川沿線舗装補修100メートル、それから林道山道線の標識の新設が主な内容でございませう。次のページ、15節工事請負費、先ほど説明しました林道ポイントマム川沿線L10メートル、まず林道のり面補修工事112万9,000円は、林道ポイントマム川沿線延長10メートルの工事。林道維持管理工事617万2,000円については、東トマム高台線側溝整備延長100メートル、路面配水40カ所、クネベツ2号線の路面排水1カ所、クネベツ3号線の路面排水1カ所が主

な内容です。林道改良工事2,930万円が、陸別薫別支線延長240メートルでございます。

7款商工費、商工総務費については、人件費でございます。

○議長（宮川 寛君） 昼食のため、午後1時まで休憩いたします。

休憩 午後 0時00分

再開 午後 1時00分

○議長（宮川 寛君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治） 127ページ、2目商工振興費から説明いたします。

19節負担金補助及び交付金で、下から3行目、商工振興事業、これは商工会の補助金として、資料ナンバー39をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

次のページ、3目観光費です。9節旅費から19節負担金補助及び交付金まで、例年同様の計上ですが、今現在、確定しているイベントの開催予定日ですが、まず、4月27日にりくべつ鉄道がオープンになります。5月12日にスーパーターマック、5月19日がオフロードバトル、5月26日が町民植樹祭、多分、この日は、春の消防演習もこの日になるかと思っております。6月2日が農業祭、7月6日がしばれロックフェスティバル、7月20日から21日がふるさと銀河線鉄道まつり、7月27日が屋台村、7月の中下旬から8月の上旬がサマーイン陸別、8月4日が道新オフロードレース、8月13日が夏まつり、9月21日がラリー北海道の陸別ステージ、10月6日が町民登山会とラリー十勝、10月27日が日産こがらしマラソン、この日、10月27日がりくべつ鉄道の最終運行日と。年が明けて、2月の1日・2日がしばれフェスティバルということになります。

次のページ、4目公園費についても、例年どおりの計上ですし、5目の消費者対策費も例年どおりの計上です。

8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費、2節給料から19節負担金補助及び交付金までも例年どおりの計上です。1目と2項の道路橋りょう費、1目の道路橋りょう総務費、133ページですけれども、建設課の管理車両10台、その維持管理費2,172万3,000円、これは車検7台も含んでおります。それと道路台帳の作成と修正が177万1,000円であります。2目の道路維持費、11節需用費から12節役務費までは、例年どおりですけれども、13節委託料で7,860万2,000円、道路維持管理2,593万8,000円、道路維持補修1,294万3,000円、三つ飛んで、路面補修1,076万4,000円については、この三つについては、資料ナンバー40をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。区画線の設置307万8,000円は、陸別薫別線ほか9路線。管渠清掃271万7,000円は、保育所本通りほか4路線の清掃です。15節工事請負費4,606万円は、町道法面の補修工事。2,033万9,000円、これも資料ナンバー40に記載をしております。町道補修修繕工事1,42

1万2,000円、排水整備工事1,150万9,000円についても、資料ナンバー40をつけております。後ほどごらんをいただきたいと思います。3目の橋りょう維持費、これは箇所図ナンバー41をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。13節委託料2,700万円、測量試験費ですが、これは共和橋と通学橋の2橋の測量試験、それから橋りょう長寿命化の個別計画の策定、15節工事請負費7,400万円、橋りょう補修工事、弥生橋と蹄橋の工事です。4目の道路新設改良費、これは資料ナンバー42に箇所図をつけております、後ほどごらんをいただきたいと思います。この科目は、町道トナム川沿線延長300メートルの予算でして、7節賃金から19節負担金補助及び交付金まででございます。5目街路灯費、11節需用費、これら街路灯182灯の電気料と修繕料です。

3項河川費、1目の河川総務費、13節委託料河川管理費140万円については、下の沢川ほか2河川の河道の整備。これ資料ナンバー43をつけております。後ほどごらんをいただきたいと思います。4項住宅費、1目住宅管理費、9節旅費から、次のページ、13節委託料までは例年どおりの計上です。15節工事請負費、公営住宅改修835万5,000円は、資料ナンバー44に箇所図をつけております。つつじヶ丘団地の電気温水器更新E棟、F棟12戸分です。2目の住宅建設費、これは資料ナンバー45に箇所図をつけております。これは、社会資本整備交付金事業でして、新町団地の9棟ある棟、2棟6戸と外構工事に係る予算でございます。9節旅費から27節公課費まででございます。5項下水道費、1目下水道費は、公共下水道特別会計操出金9,862万1,000円でございます。

9款消防費、1項消防費1目消防費1億6,806万8,000円ですが、1点目は、常備消防、消防署に係る分、19節とちか広域消防事務組合負担金1億5,231万2,000円でございます。内訳については、187ページから190ページであります。後ほどごらんをいただきたいと思います。

消防団に係る予算1,575万6,000円でございます。1節報酬、9節旅費、10節交際費、11節需用費、12節役務費は例年どおりの計上ですし、13節委託料についても昨年度から防火水槽・消火栓設置カ所の草刈りですとか除雪136万円を見ております。18節備品購入費17万5,000円は、消防団員新入団員1名分の防火衣などで、19節負担金補助及び交付金でとちか広域消防事務組合1億5,231万2,000円については、本部共通経費で1,068万6,000円、消防署費で1,460万7,000円、消防施設費で231万6,000円。この消防施設費231万6,000円は、消防庁舎のトイレ改修でございます。洋式便器への交換、小のセンサー交換、洗面台の更新でございます。職員の人件費が1億2,823万7,000円と予備費10万円でございます。これらから退職手当組合の清算金295万円、高速道路の遅延金48万9,000円、繰越金の19万5,000円を引いた額が1億5,231万2,000円でございます。

次のページ、2目の災害対策費71万円ですが、これも例年どおりの計上ですが、11

節消耗品で11万4,000円のうち、非常用飲料水9万7,000円を含んでございます。食糧費17万8,000円の中には、非常用の備蓄用の食糧13万9,000円を含んでございます。

10款教育費、1項教育総務費、1目教育委員会費150万1,000円。1節報酬から、次のページの19節負担金補助及び交付金までは、例年どおりの計上。2目事務局費1億5,264万1,000円についても2節給料から19節負担金補助及び交付金まで例年どおりの計上ですが、13節委託料で535万4,000円。実施設計教員住宅2棟3戸分。15節工事請負費教員住宅建設で4,562万3,000円、1棟2戸の建設と1棟2戸の解体でございます。追加資料のナンバー2をお開きください。追加資料のナンバー2は、平成31年度の教員住宅の建てかえ実施設計の位置図でして、まず、教員住宅建てかえ計画。斜線で囲っております平成31年度住宅番号50号、51号。これは、下の図面でございますが、斜線で張ってある横の50(61.75平米)解体、51の解体でございます。これは、1棟2戸ですが、今度平成31年度においては、E-1、2として1棟2戸の建てかえ工事をする。それと、平成32年度、平成33年度で1棟2戸と1棟1戸の工事がございますが、今年度実施設計で見ている部分でございます。まず、右側のほうの下、下陸別と書いてあるところに建てかえで47号、その下が48号、49号と。それぞれ1棟1戸ずつでございますけれども、今年度実施設計をして、平成32年度においてまず48、49の1棟2戸にした建物に建てかえをする。そして、平成33年度で47の1戸を建てて、この建てかえ工事は完了するということになります。

予算書146ページにお戻りください。教員住宅建設事業は5,908万1,000円の予算でございます。12節役務費で3万円。13節委託料で535万4,000円。15節工事請負費で5,315万円。18節備品購入費で54万7,000円の内訳となっております。147ページ、21節貸付金、奨学資金648万円ですが、高校生が5人、これは新しい制度。大学生9人ですが、旧制度が2人、新制度が7人ということになってございます。3目教育振興費1,332万3,000円。1節報酬から、次のページの19節負担金補助及び交付金までは例年どおりの計上です。この中で、19節負担金補助及び交付金ですが、202万9,000円、交付金関係。それから、学習支援事業で516万5,000円でございます。4節共済費で74万1,000円、7節賃金で442万4,000円です。英語指導助手招聘事業532万2,000円もこの中に含んでございます。4節共済費で106万1,000円、7節賃金で360万円、9節旅費で18万7,000円、11節需用費で27万7,000円、12節役務費で6万3,000円、13節委託料で4,000円、14節使用料及び賃借料で2万6,000円、19節負担金補助及び交付金で10万4,000円となっております。あと、経常的な経費として80万7,000円ほどこの中に含まれてございますが、1節報酬で4万3,000円、8節報償費で60万4,000円、9節旅費で9万8,000円、11節需用費で2,000円、13節委託料で7万4,000円、19節負担金補助及び交付金で7万6,000円。これについて

は、経常経費については、例年どおりの計上でございます。8節報償費・謝礼金で41万円でございますが、これは、療養指導が8回、言語聴覚指導関係が7回、スクールカウンセラーが4回分などが内容でございます。

149ページ、4目スクールバス運行管理費、これについては例年どおりの計上です。5目の教育研究所費についても、例年どおりの計上でございます。150ページ、2項小学校費1目学校管理費です。先ほど、4款衛生費のほうで説明しましたけれども、8節報償費・謝礼金16万2,000円。これは、臨時歯科医師3回分でございます。11節需用費からは、例年どおりの計上でございます。152ページで、車両借上料5万3,000円については、臨時歯科医師ハイヤーの借上料1回分でございます。教育振興費については、11節需用費から20節扶助費までは、例年どおりの計上ですが、13節委託料のコンピュータ機器管理65万6,000円。これは、前年度から見ると26万7,000円ほどの増。23節償還金利子及び割引料2,000円は譲渡事業償還金です。これは、Windows7のサポート終了に伴うWindows10への更新ですが、サーバーの更新ですとか、ネットワーク回線システムの改修でございます。

資料ナンバー46をお開きください。資料ナンバー46は、陸別小学校・中学校コンピュータ整備事業です。この小・中学校コンピュータ整備の背景は、一つとして平成32年、来年の1月14日にWindows7のサポートが終了するという。2点目に、平成29年10月、教育情報セキュリティポリシーガイドラインが国によって策定されました。内容としては、①から④までであると。2番目に、現状の運用方法がございます。小学校では、パソコン教室には端末が21台ございます。職員室には、サーバー2台と教員用の端末が18台。中学校が、職員室にサーバー2台と教員用17台、パソコン室には22台ございます。更新後の運用方法については、ここに記載のとおりですが、基本的には端末機は再利用するという、つまり小学校で39台、中学校で39台、合わせて78台。これについては、再利用するという。小学校のサーバー2台、小学校の職員室にあるサーバーと中学校のサーバー2台、中学校のパソコン室にあるサーバー2台、サーバー7台の更新とインターネットなどのネットワーク回線の改修が主な内容です。

それで、資金計画でございます。北海道市町村備荒資金組合防災資機材譲渡事業という事業名で、小中学校の職員室用で1,411万2,000円の元金でございます。小学校パソコン室については788万3,000円、中学校パソコン教室については775万6,000円、合わせて2,975万1,000円です。総務費のほうで説明しましたけれども、平成31年度については利息分ということで、小中学校については2,000円、小学校については1,000円、中学校は1,000円、合わせて4,000円の償還と。平成32年度から平成35年度で元金の償還をするということで、合計しますと2,976万6,000円ということになります。利息分は、5年償還で1万5,000円の増ということで、有利な貸付制度ということで、このたび、この制度を活用して更新をするという内容です。

ちなみに、庁舎用ですが、元金が419万1,000円。庁舎用の419万1,000円は、端末機80台の更新です。平成31年度については1,000円、平成32年度については105万4,000円、平成33年度については104万7,000円、平成34年度については104万6,000円、平成35年度も104万6,000円で合わせて419万4,000円で、庁舎については3,000円分の利息の増となります。合わせますと、元金は3,394万2,000円、平成31年度分については5,000円、平成32年度分については850万8,000円、平成33年度については848万5,000円、平成34年度については848万2,000円、平成35年度については848万円ということで、各年度間の1,000円単位の端数調整はございますけれども、合計でも3,396万円ということで、元金から見ると利息1万8,000円ほどの増ということで、低金利で貸し付けを受けて、備荒資金組合に5年間をかけて償還利率として返していく内容でございます。

それでは、予算書の153ページをお開きください。2項小学校費の2目教育振興費19節で負担金補助及び交付金、給食費補助事業518万4,000円は108名分。修学旅行交付金16万円は6年生16名分でございます。3項中学校費1目学校管理費。8節報償費5万4,000円、これは臨時歯科医師の健診1回分でございます。11節需用費から12節役務費は、例年どおりの計上として、13節委託料についても例年どおりの計上ということになります。2目教育振興費。11節需用費から次のページの18節備品購入費までは、例年どおりの計上として、19節負担金補助及び交付金で給食費補助事業249万4,000円は生徒43人分、修学旅行は42万円で3年生14人でございます。23節償還金利子及び割引料2,000円については、今、説明した資料ナンバー46でございます。後ほどごらんをいただきたいと思います。次に、4項社会教育費、1目の社会教育総務費ですが、ここは、全体事業費で説明をしたいと思います。社会教育総務費の經常経費として45万8,000円を計上しています。1節報酬で12万5,000円、9節旅費で20万3,000円、11節需用費で3万7,000円、19節負担金補助及び交付金で9万3,000円です。この科目には、成人式の開催事業で25万円ほど計上しています。8節報償費で9万4,000円、19節負担金補助及び交付金で15万6,000円、文化祭の開催事業25万円も計上しています、これは19節負担金補助及び交付金で25万円です。社会教育推進事業75万7,000円ほど計上していますが、8節報償費で64万6,000円、11節需用費で4万4,000円、19節負担金補助及び交付金で6万7,000円です。ジュニアリーダー養成講習会参加事業2万8,000円ですが、19節負担金補助及び交付金で2万8,000円を計上してございます。団体補助金等交付金51万8,000円は、19節負担金補助及び交付金で51万8,000円。社会教育指導員設置77万4,000円ですが、4節共済費で3,000円、7節賃金で70万6,000円、11節需用費で6万5,000円です。学童保育所指導員設置事業は586万8,000円です。4節共済費で72万9,000円、7節賃金で39万1,200円、9節旅

費で10万3,000円、11節需用費で102万8,000円、12節役務費で7万1,000円、13節委託料で7,000円、19節負担金補助及び交付金で8,000円、22節補償補填及び賠償金で1万円です。地域学校共同活動事業40万1,000円。8節報償費で22万1,000円、9節旅費で3万4,000円、11節需用費で9万5,000円、12節役務費で5万1,000円です。土曜授業推進事業19万4,000円も計上しております。8節報償費で14万8,000円、11節需用費で4万6,000円でございます。1節報酬が、例年どおりの計上です。2目公民館費1,117万5,000円についても、8節報償費から19節負担金補助及び交付金まで例年どおりの計上でございます。3目文化財保護費119万円についても1節報酬から19節負担金補助及び交付金まで例年の計上、5項保健体育費の1目保健体育総務費、これも1節報酬から19節負担金補助及び交付金まで例年どおりの計上です。2目体育施設費についても7節賃金から18節備品購入費まで例年の計上ですが、18節備品購入費8万7,000円については、サッカーゴール、ゴールネット2張りと消火器2本でございます。3目学校給食費5,838万8,000円ですが、これは、職員人件費で1,451万7,000円、維持管理費経費が4,387万1,000円です。財源内訳で、その他で3,550万2,000円については、基金取り崩した額が2,200万円、給食費1,208万1,000円、社会保険料149万1,000円の内訳です。一般財源として2,288万6,000円でございますが、人件費分で1,451万7,000円、維持管理費分で836万9,000円の内訳となっております。2節給料から11節需用費、12節役務費、13節委託料、27節公課費まで、例年どおりの計上です。167ページ、12節役務費で、下から4行目、ごみ処理手数料24万7,000円。これは事業系一般廃棄物の処理手数料でございます。13節委託料で、次のページ、上から2番目、廃棄処理8万8,000円、これは産業廃棄物の処理委託料でございます。

11款災害復旧費の1項農林水産施設災害復旧費1目農業用施設災害復旧費、2目の林業用災害復旧費、2項の公共土木施設災害復旧費、1目の道路橋りょう災害復旧費については、それぞれ例年どおりの計上でございます。

12款公債費、1項公債費1目元金、2目利子。元金については5億1,292万7,000円。利子については3,052万7,000円の計上です。なお、公債費の180ページに地方債の現在高見込み調書がございますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。13款予備費1項予備費1目予備費は400万円、前年同額です。以上で歳出を終わります。歳入12ページに移ります。

12ページ、歳入です。

まず、1款町税、1項町民税1目個人1億1,034万8,000円ですが、現年度分で1億1,011万3,000円。前年度から見ると363万3,000円ほど増になっておりますが、これは営農所得と給与所得の増ということでございます。2目の法人1,441万2,000円、現年度分ですが、法人所得の微増で前年度並み120万ほどの増で予

算を計上しています。2項固定資産税1目固定資産税ですが、1億6,440万4,000円。現年度分で1億6,429万9,000円。前年度からみると若干の減額でありますけれども、大体前年度並みで計上をしてございます。2目国有資産等所在市町村交付金は、705万7,000円でございます。3項軽自動車税1目軽自動車税664万4,000円。現年度分で663万円については、車1,221台分でございます。2目環境性能割、これは新しい名称でございますが、10月1日から消費税が10%になりますけれども、自動車取得税が廃止になります。10月からの環境性能割額ということで、北海道から示された算出方法で算出していますけれども、北海道が町分を含めて徴収をして、軽自動車税環境性能割分として町に交付されると。それが27万8,000円ということでございます。4項たばこ税1目たばこ税ですが、1,992万1,000円です。前年度から見ると37万8,000円ほど減になっています。本数にすると39万3,000円ほどの減となっておりますが、旧3級品のたばこ、わかばですとかエコーなどが10月1日から1,000本につき4,000円から5,692円、1,692円の増になると。旧3級品については、据え置き5,692円です。本数も減の割には、単価改正等によつての微減ということで37万8,000円の減でございます。

2款地方譲与税、1項自動車重量譲与税1目自動車重量譲与税については、前年度ベースで計上してございます。2項地方揮発油譲与税2目地方揮発油譲与税についても同等でございます。3項森林環境譲与税、1目森林環境譲与税、これは国税ですが、追加資料1をお開きください。追加資料1は、森林環境税・森林環境譲与税の資料でございます。森林環境税、これは国税でして、平成36年度から納税者から市町村が個人住民税均等割と合わせて年額1,000円が賦課徴収されるという税でして、現行均等割は3,000円です。今回の環境税1,000円と合わせて4,000円になるということです。平成36年度からですね、均等割の税改正がなければの話ですけれども、そのようになります。森林環境税は、平成31年度から平成35年度までの国の譲与税特別会計で借り入れをして市町村へ譲与される名称だと。平成37年度から平成44年度の森林環境税から段階的に償還をしていくということになります。目的ですが、森林吸収財源や森林の整備による災害防止を図るために必要な地方財源を確保するため、森林環境税が創設されます。国民に広く恩恵があることから、一人一人が等しく負担を分かち合つて、国民みんなで森林を支える仕組みとなっております。用途についてですが、未整備森林の整備や人材育成、担い手確保等の林業の推進のための新たな取り組みに使う。既存事業への充当はできない。また、複数年度での事業執行が可能だと。用途は、納税者に広くわかりやすく公表する義務があるということで、市町村においては、基金を設置して事業の執行等税源の管理を行う必要があるということで、この譲与税については、会計検査の対象になるということと、今現在のスケジュールとしては、ことしの9月までに基金条例を制定しなさいというようなことになっているようです。この下の税の仕組みですが、これは陸別町に交付される見込みの金額でございまして、昨年、北海道が試算したものでございます。これは、あ

くまでも今時点での試算値として、平成25年度までの北海道がシミュレーションを仕立てて、試算した額だということ御理解をいただきたいと思ひます。平成31年度については、1,220万円でございます、平成45年度には、4,140万円が交付されるという、現時点で平成45年度までのシミュレーションでの試算値ということ御押さえていただければというふうに思ひます。森林環境税を按分して、私有林人口面積で50%、市町村林業従事者数で20%、市町村人口で30%の按分となります。

予算書13ページにお戻りください。地方揮発油譲与税も実績ベースでの計上、3款利子割交付金についても実績ベースでの計上、次のページ、4款配当割交付金についても実績ベース、5款株式譲渡等所得割交付金も実績ベースでございます。6款地方消費税交付金についても、実績ベースでございます、地方消費税交付分3,007万7,000円。10月からの2%アップ分については、平成32年度からの収入になります。社会保障財源交付金2,042万6,000円については、191ページに社会福祉費、社会保険、保健衛生にかかわる三つの事業の充当一覧がございますので、後ほどごらんをいただきたいと思ひます。

7款自動車取得税交付金。1項自動車取得税交付金1目自動車取得税交付金については、4月から9月までということになります。

8款環境性能割交付金。これは、10月からの消費税10%に上がることによって、自動車取得税交付金が廃止となります。それで、燃費基準を基準にしておりまして、平成27年、平成32年の燃費基準に達している車を購入するときに、事前に定めた割合で割引する制度だということでございます。環境性能割については、エコ化減税が適用されないということになっているようでございます。

9款地方特例交付金も実績ベースでございます。2項の子ども・子育て支援臨時交付金1,000円ですが、10月1日から保育所の無償化になるということで、現在、算定方法を調整中ということのようです。科目存置として、予算を計上しておりますけれども、来年の3月に概算で一部交付されると聞いてございます。これは、あくまでも平成31年度限りの臨時交付金ということで、平成32年度以降については、10款地方交付税の基準財政収入額に算定されてくるという中身でございます。交付税です。19億6,901万3,000円で、普通交付税が17億8,901万3,000円。前年度から見ると4.19%の減でして、7,829万円ほどの減。特別地方交付税については、前年同額1億8,000万円を計上しております。11款交通安全対策特別交付金1,000円については、科目存置となります。

次のページ、12款分担金及び負担金、1項分担金1目農林水産業費分担金。農業競争力整備事業分担金1,097万5,000円です。これは、道営草地受益者分担金で、農家と農協分の分担金。2項負担金1目民生費負担金については、老人福祉施設入所者の措置費徴収金として、町外老人ホーム入居者4名分の負担金です。13款使用料及び手数料の1目総合手数料、1節の行政財産使用料から2節福祉館等使用料、3節タウンホール使用

料、4節ふるさと交流センター使用料、5節銀河の森宇宙地球科学館等使用料については、例年どおりの計上として、ふるさと交流センターについては、利用者数を4,012人と見込んでの計算でございます。コテージ等使用料1,645万7,000円ですが、コテージの稼働率を32.9%、837棟の稼働ということで計算をして1,845万7,000円で計上しております。2目の民生使用料1節老人福祉使用料は、福寿荘入居者の使用料8人とショート1人の9名分。2節児童福祉使用料は、保育所園児42人分と広域入所保育料1名3歳児ですが、足寄町からの梅田さんのお孫さんになります。3節福祉住宅使用料、からまつ入居者使用料で6戸分。3目衛生使用料1節保健衛生使用料・公衆浴場は7,763人分、190万4,000円の計上でございます。2節水道使用料405万円については、小利別地区の専用水道24戸の38件分でございます。4目農林水産使用料、1節農林水産使用料農畜産物加工研修センターの使用料9万9,000円。2節営農用水使用料500万円。上陸別地区営農用水使用料260万円は、30戸の37件分。トラリ地区営農用水使用料については240万円、18戸21件分でございます。6目土木使用料、1節道路橋りょう使用料から2節河川使用料、3節住宅使用料、4節集会所使用料については、実績ベースで計上。7目教育使用料についても1節社会教育使用料から2節資料館使用料については、実績ベース。3節学童保育所使用料183万円は、児童35名を見込んでの計算でございます。13款使用料及び手数料2項手数料、1目総務手数料1節総務手数料から2目衛生手数料、1節衛生手数料、次のページ、2節水道使用料、3目農林水産手数料1節営農用水手数料については、実績ベース、例年ベースでの計上でございます。ごみ処理手数料で193万4,000円、これは、町のストックヤードに受け入れする分の手数料でございます。

それから、14款国庫支出金。1項国庫負担金1目の民生費負担金1節社会福祉費負担金9,283万3,000円ですが、1番目の国民健康保険事業保険基盤安定負担金は、国保税の軽減分、保険財政支援分の2分の1。その次、障害者介護給付費負担金から下の低所得者保険料軽減分までは、国の負担分2分の1分でございます。低所得者については401名分、これは介護保険会計繰出金の財源となります。その上の障害者相談支援負担金79万9,000円は、59人分でございます。先ほどの国保の保険基盤軽減分ですが、これは国保会計繰出金の財源に充当となります。

21ページの2節の児童福祉費負担金、被用者児童手当負担金から中学修了前負担金については、児童手当分の歳入として、障害者介護給付費負担金から子どものための教育保育給付費負担金は、それぞれ2分の1の負担でございます。障害児相談支援費負担金6万7,000円は4人分を計上してございます。

次のページ、2項国庫補助金の1目総務費補助金、1節総務管理費補助金です。地方創生推進交付金242万5,000円。これは、先ほど歳出でも説明しましたが、資料ナンバー21-1にありますので、後ほど御参照いただきたいと思います。3目土木費補助金1節道路橋りょう費補助金については、橋りょう長寿命化修繕事業交付金5,940万

円。2節住宅補助金、社会資本整備総合交付金、公営住宅新町団地の建設ですが5,850万円。橋りょう長寿命化については、弥生橋、蹄橋の工事。共和橋、通学橋の測量設計費などの補助金となっております。3項委託金、1目総務費委託金、例年ベースの計上でして、参議院選挙費が今回ありますので432万4,000円の委託費の計上。民生費委託金については、前年度同額を計上。15款道支出金の1項道負担金、1目民生費負担金、1節社会福祉費負担金、2段目の国民健康保険事業保険基盤安定負担金913万2,000円は、国保税軽減分として、財政支援分が4分の3、716万4,000円。保険者支援分が4分の1、196万8,000円。合わせて913万2,000円で、これも国庫負担金と同様に国保会計への繰出金の財源充当となります。後期高齢者医療保険基盤安定負担金1,024万3,000円も、1,365万8,000円の4分の3分として、これも後期高齢者特別会計繰出金の財源に充当されます。

その下、障害者介護給付費負担金2,300万8,000円から下から2番目の低所得者保険料軽減分まで北海道の負担分4分の1分でございます。低所得者については401人分、その上の障害者相談支援費負担金については59人分でございます。2節児童福祉費負担金1,191万2,000円については、児童手当に係る負担金、特例給付負担金までです。障害者介護給付費負担金から障害者相談支援費負担金までは、4分の1分の負担分。なお、障害者相談支援負担金は、4人分でございます。子どものための教育・保育給付費負担金837万7,000円は、保育所運営費ですけれども、4分の1分でございます。2項の道補助金、1目総務費補助金ですが、地域づくり総合交付金10万円は、歳出で説明しましたがけれども、災害対策費の防災備蓄品整備事業費の関係、23万6,000円の2分の1分で10万円限度でございます。2目民生費補助金、1節社会福祉費補助金からですが、重度心身障害者医療費補助金から次のページ、乳幼児医療費補助金までは、実績、例年ベースでございますし、地域生活支援事業費補助金については、4分の1分、37万円。一つ飛んで、権利擁護人材育成事業補助金58万4,000円については、資料ナンバー28-2を後で見ていただくようにと思います。福祉車両購入助成補助金152万4,000円については、デイサービスの利用者送迎用の車両の購入に係る補助金でございます。2節児童福祉費補助金、子ども・子育て支援交付金364万9,000円は、保育所と学童保育所の運営に充当する補助金。保育料軽減支援事業費補助金35万1,000円については、第2子の2歳児6名分です。国の基準額9,750円の6人の12ヵ月の2分の1でございます。

3目衛生費補助金1節保健衛生費補助金の妊産婦安心出産支援事業費補助金19万6,000円は、15人の16回分の3分の1でございます。4目農林水産費補助金、1節農業費補助金で2行目の農業経営基盤強化資金利子補給費補助金60万6,000円は、資料ナンバー30を後ほどごらんをいただきたいと思います。他については、例年ベースでの計上でございます。

次のページ、農業競争力基盤強化特別対策事業752万5,000円については、パ

ワーアップ事業分として、資料ナンバー 8 を後ほどごらんをいただきたいと思います。暗渠排水 30.7ヘクタールの 8,600万円の 8.75%分、752万5,000円。2節林業費補助金、未来につなぐ森づくり推進事業補助金 673万5,000円は、資料 37 を後ほどごらんいただきたいと思います。これは、森林環境保全整備事業補助金 1,348万7,000円は、町有林整備です。これと一つ飛んで、野そ駆除事業補助金 43万5,000円。これは、資料ナンバー 18 をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。小規模治山事業補助金 1,150万円は、弥生地区の流路工でございます。6目教育費補助金の 1節教育総務費補助金、地域学校協働活動事業 30万2,000円、これは3分の2分ですが、平成30年度までは国庫補助金の学校支援地域本部事業として計上してございましたけれども、平成31年度からは道補助金に科目がえで計上していません。対象事業は、同じでございます。

3項委託金 1目総務費委託金ですが、1節総務管理費委託金から4節統計調査費委託金までは、例年どおりの計上として、統計は国勢調査の参事にありますので、その準備費も何ぼかですが、入っております。5節選挙費委託金は、知事・道議の選挙費 227万1,000円でございます。3目農林水産業費委託金、1節農業費委託金ですが、二つ飛んでトマム地区農地整備事業監督等補助委託金 16万9,000円、第2上陸別地区畑地帯総合整備事業監督等補助委託金 28万2,000円、農業農村整備事業監督等補助委託金 45万2,000円、中陸別地区農道整備特別対策事業監督等補助委託金 8万4,000円については、道営事業に係る事務費分 112万8,000円でございます。

次、中斗満地区農地整備事業監督等補助委託金も 14万1,000円の同様でございます。2節林業費委託金から4目商工費委託金 1節商工費委託金、5目土木費委託金 1節土木管理費委託金までは、例年どおりの計上。16款財産収入 1項財産運用収入の 1目財産貸付収入、1節の土地建物貸付収入 2,965万1,000円です。土地貸付収入 320万9,000円ですが、まず総務課管財防災担当分が 317万3,000円、産業振興課分が林業振興が 2,000円、銀河の森が 3万4,000円の内訳でございます。職員住宅については1戸分、貸付住宅については10戸分、産業振興はルナコートの貸付。教職員住宅は26戸分、建物貸付は2軒、移住定住促進住宅は3戸分、モデル住宅とちょっと暮らし住宅2戸分でございます。定住促進住宅は、旭町の旧森林管理署アパート3戸分、移住研修センター貸付は6戸で計算をしておりますが、4月1日にはさらに2戸の申し込みが来ているということで、4月からは8戸全部が入居になるのかなと、そのように思っております。通信設備貸付収入 1,026万1,000円は、光ファイバー網貸付収入で、件数としては前年度同じ件数の 523件ですが、消費税が 10月から 2%上がる分での 9万4,000円ほどの増となります。利子及び配当金については、基金の利子でございます。帯広空港ターミナルの配当金 1万1,000円も計上しております。それから次のページ、優先出資配当金、農協から 80万円が入っております。

16款財産収入 2項財産売払収入 1目の不動産売払収入、1節土地売払収入、2節建物

売払収入は、科目存置。2目物品売払収入の1節生産物売払収入、町有林素材売払収入33万1,000円、町有林立木売払収入86万9千400円については、資料ナンバー18-1に記載がございますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。17款寄附金1項寄附金1目一般寄附金については、科目存置でございます。18款繰入金1項基金繰入金については、1目財政調整基金繰入金が1億3,000万円、2目減債基金繰入金は2億円、3目ふるさと整備資金繰入金が1,040万円、内訳については、説明欄に記載のとおりでございます。4目いきいき産業支援基金繰入金が8,300万円、5目ふるさと銀河線跡地活用等振興基金繰入金は1,530万円、6目町有林整備基金繰入金が790万円、7目地域福祉基金繰入金が5,460万円の取り崩しになりますし、8目公共施設等維持管理基金繰入金は2,440万円、学校給食センター管理運営基金繰入金が2,200万円、スポーツ振興基金繰入金が50万円の取り崩しとなります。合わせて5億4,810万円の基金の取り崩しとなります。

歳出でも説明をしましたが、現時点での平成31年度末の基金残高については4億2,868万円の現時点での見込みということになります。繰越金については1,000万円、前年度同額。20款諸収入の1項延滞金加算金及び過料1目延滞金、2目加算金については科目存置、前年度同額計上でございます。20款諸収入、2項町預金利子1目町預金利子3万円。3項貸付金元利収入1目家畜導入貸付金収入1節家畜導入貸付金3,388万2,000円。これは、8月31日の約定償還分でございます。2目貸付金元利収入1節貸付金元利収入は8,001万1,000円、これは例年どおりの計上です。3目の奨学資金貸付収入1節奨学資金貸付金収入41万4,000円は、奨学資金の償還金として、高校生3件、大学生4件でございます。4項雑入の1目滞納処分費1節滞納処分費については、科目存置。2目弁償金については、例年ベースの計上。3目雑入については、5,421万4,000円で、1節介護予防支援報酬から2節居宅介護支援報酬、3節高齢者福祉施設負担金、4節学校給食費等、5節電話使用料等例年どおりの計上。6節電気等使用料についても、例年どおりの計上。7節雑入についても3,003万7,000円で例年どおりの計上でございます。

なお、次のページで下から4行目のニトリ北海道応援基金助成金129万円がございますが、これは、まず町有林の苗木代、植樹祭用が14万円、人工造林植栽用ヤヨイで100万円です。薬草のハウノキ200本と看板作成15万円の合わせて129万円でございます。

それから、37ページの上から二つ目、支障物件移設補償費115万2,000円ですが、まず道営事業とトナム地区の光ケーブル移設67万4,000円、高速道路のキハダの移設47万8,000円。合わせて115万2,000円でございます。退職手当組合事前納付金精算還付金295万円は、消防から平成28年度から平成30年度まで3年分の精算に伴う収入でございます。新農林業人材育成プログラムは、大学生8人の参加費2万円、16万円でございます。4目の過年度収入、1節の林業費補助金過年度収入、これ平

成30年度分の町有林人工造林の分の追加交付、精算に伴う交付でございます。

次のページ、21款町債1項町債でございます。1目の総務債、1節総務債9,030万円、過疎地域自立促進特別事業、俗に言う過疎ソフトですが6,120万円、これは資料ナンバー15に一覧がございますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。防災行政無線整備事業2,500万円は、緊急防災減災対策債でございます。これは「あいの鐘」の整備でございます。銀河の森専用水道施設整備事業410万円については、過疎債。2目農林水産業債の1節農業債1億3,940万円ですが、第2上陸別地区畑地帯総合整備事業については3,840万円は過疎、その下トナム地区農地整備事業4,950万円についても過疎、中斗満地区農地整備事業3,030万円は公共事業債、中陸別地区農道整備特別対策事業300万円については過疎、第2上陸別地区配水管整備事業1,820万円についても過疎でございます。2節林業債2,670万円、経営林道陸別薫別支線事業1,520万円は過疎、弥生地区小規模治山事業1,150万円は一般単独、防災対策事業債です。3目の土木債、1節の道路橋りょう債5,060万円、町道トナム川沿線道路整備事業2,210万円は過疎、共和橋改修事業340万円も過疎、蹄橋改修事業1,020万円も過疎でございます。その下、通学橋改修事業300万円も過疎、弥生橋改修事業1,190万円も過疎です。

2節住宅建設債5,000万円、新町団地公営住宅の建設でございます。これは、公営住宅建設事業債でございます。4目教育債1節教育総務債については、教員住宅建設で5,850万円で、これも過疎でございます。5目臨時財政対策債1節臨時財政対策債が7,270万円ということで、前年度から見ると2,190万円の減となります。

以上で歳入を終わりました、7ページをお開きください。

7ページ、「第2表債務負担行為」でございます。

3段目から北海道市町村備荒資金組合防災資機材の譲渡代金、庁舎電算機器（平成32年度から平成35年度まで）419万3,000円。同じく小中学校職員室電算機器（平成32年度から平成35年度まで）1,411万8,000円。同じく小学校パソコン教室電算機器（平成32年度から平成35年度まで）788万7,000円。中学校パソコン教室電算機器（平成32年度から平成35年度まで）776万円の債務負担行為でございます。

「第3表地方債」でございます。

記載の目的。公共事業債3,030万円は、中斗満地区農地整備事業でございます。起債の方法は、普通貸借または証券発行。利率償還の方法は、記載のとおり。公営住宅建設事業債5,000万円。一般単独事業の防災対策事業1,150万円。弥生地区小規模治山事業。一般単独事業の緊急防災減災対策事業は、防災行政無線「あいの鐘」の改修整備2,500万円。辺地対策事業、弥生橋改修事業1,190万円。次のページ、過疎対策事業が2億8,680万円で、過疎地域自立促進特別事業612万円から教員住宅建設事業5,850万円まで、記載のとおりでございます。臨時財政対策債が7,270万円。合

せて4億8,820万円でございます。過疎ソフトについては、充当一覧が事項別明細書でも説明しましたけれども、資料ナンバー15をつけておりますのでごらんをいただきたいと思えます。

以上で議案13号の説明を終わります。次に議案第14号の説明に移ります。

○議長（宮川 寛君） 2時15分まで休憩いたします。

休憩 午後 2時09分

再開 午前 2時14分

○議長（宮川 寛君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治） それでは、議案第14号の説明に移ります。

平成31年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計予算は、次に定めるところによる。歳入歳出予算。

第1条、第2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。歳出予算の流用。第2条、地方自治法第220条第2項のただし書きの規定により、歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

第1号、保険給付費の各項に計上された予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用であります。

資料ナンバー47をお開きください。

資料ナンバー47は、平成31年度国保会計歳入歳出予算（財源充当）内訳書でございます。都道府県単位ということになりまして、広域になって平成31年度は2年目ということになります。一番上は、北海道の歳入。納付金と国からの交付金、保険給付費交付金であります。点線から下が陸別町でして、歳出で国民健康保険事業費納付金9,479万6,000円、これが広域に係る予算となります。総務費、共同事業拠出金、特定健診等事業、償還金、延滞金、直診会計への操出金3,310万5,000円。予備費と保険給付費2億4,711万1,000円、これは国保連への支払いとなります。

これは歳入になります。

歳入。国保税が6,443万9,000円。国庫補助金が1,000円で、道支出金Aから道支出金Eまでございまして、下のほうに書いてございますけれども、歳入の国保税から諸収入①から⑩までが9,479万6,000円ということになります。これは、北海道がシュミレーションに基づいて計算をしてきている額ということになりますが、道支出金AからDの合計4,360万7,000円不足道支出金Eイコール2億9,071万8,000円となっております。この金額は、③から⑩、⑬、⑱、⑲、⑳、㉑がこの金額、道支出金の合計2億9,071万8,000円です。繰入金1から3の合計2,975万9,000円については、④から⑧、⑫、㉒の合計となります。基金繰入金AからE642万円については、⑩、㉓、㉔、㉕、㉖の合計。その他ですけれども、①、②、⑨、⑪、⑭、⑮、㉗が

6,450万8,000円で、合わせて3億9,140万5,000円となります。

次のページ、国保会計の前年度比較表でございます。歳入と歳出と分かれてございますけれども、まず、歳入。国保税の平成31年度当初、②のほうですが、6,443万9,000円。災害臨時特例補助金1,000円、保険給付費等負担金2億9,071万8,000円のうち611万2,000円。繰入金1,742万2,000円。繰入金（出産分）140万円。一つ飛んで、繰入金（その他）440万8,000円。基金繰入金642万円のうち、99万9,000円。繰越金の1,000円。その他収入の6万7,000円のうち、1万4,000円。これが9,479万6,000円ということで、歳出の国民健康保険事業費納付金9,479万6,000円となります。

保険給付費、歳出では、まず療養給付費の2億1,000万円、高額療養一般の3,400万2,000円。出産・葬祭費240万4,000円。手数料の70万円。療養給付費（退職）の1,000円。高額・療養費（退職）の4,000円。これを合わせたものが、保険給付費として2億4,711万1,000円となります。

予算書歳出の12ページをお開きください。

12ページ、歳出です。1款総務費1項総務管理費、1目の一般管理費。9節旅費から25節積立金1,000円までは、例年どおりの計上でございます。2目連合会負担金46万5,000円の例年どおりの計上。2項の徴税费、1目の賦課徴収費例年どおりの計上ですが、19節負担金補助及び交付金28万5,000円は、税滞納整理機構への負担金。引き継ぎは、2件の60万9,763円を引き継ぐ予定でございます。3項運営協議会費については、例年どおりの計上となります。

次のページ、2款保険給付費の1項療養諸費でございます。まず、1目一般料保険被保険者療養給付は2億1,000万円、前年同額。退職被保険者等療養給付費は1,000円。これは、退職被保険者数が、今はゼロということですので、科目存置となります。3目一般被保険者療養費は600万円、マイナス100万円でございます。4目退職被保険者等療養費も1,000円、これも科目存置でございます。5目審査支払手数料は同額の70万円。2項の高額療養費の1目一般費保険者高額療養費については、前年同額の2,800万円。2目退職被保険者等高額療養費については、科目存置の1,000円。3目一般被保険者高額介護合算療養費も科目存置の1,000円。退職被保険者等高額介護合算療養費についても1,000円、これは科目存置でございます。3項の移送費については、1目一般被保険者移送費・退職被保険者等移送費についても1,000円ずつ科目存置でございます。

次のページ、4項の出産育児諸費、1目出産育児一時金は210万、5件分でございます。前年度は4件分、168万円ということで1件分の増。2目審査支払手数料1,000円は、科目存置。5項葬祭諸費の1目葬祭給付費についても、科目存置。2目葬祭費は30万円、前年度同額ですが、10件分を見てございます。6項育児諸費、1目育児給付費1,000円。2目の児童手当金についても、科目存置の1,000円。

3 款の国民健康保険事業費納付金、1 項医療給付費分、1 目一般被保険者医療給付費分で6,469万1,000円。2 目退職被保険者医療給付費については、科目存置でございます。2 項後期高齢者支援金等分、1 目一般被保険者後期高齢者支援金等分については、2,146万円。2 目退職被保険者後期高齢者支援金等分については、科目存置の1,000円でございます。これについても、道がシミュレーションとして示された数字でございます。3 項介護納付金1 目介護納付金864万3,000円、これについても道の計算に基づいての計上。4 款共同事業拠出金については、科目存置でございます。5 款保健事業費の1 項特定健康診査等事業費1 目特定健康診査等事業費392万4,000円ですが、既に新聞等で報道されておりますけれども、平成29年度の特定健診率が陸別町は70.1%ということで十勝管内では1位、全道では4位ということになってございます。今現在、平成30年度の受診率ですが71.6%ということで、受診率が上がってきております。

まず、11 節需用費37万8,000円、消耗品ですが、この中には特定健診用のマルチマーカースフト35万7,000円を含んでございます。13 節委託料の共同電算業務、これについては、健診データ管理でございます。受診者350人分と保健指導30人分のデータ管理。健康診査327万7,000円については、特定健診40歳以上75歳未満が310人。それから2次健診、エコー検査、頸動脈は40件分でございます。2 項の保健事業費、1 目保健事業費ですが、まず8 節報償費1万5,000円は国保ゲートボール大会の記念品。13 節委託料で各種予防接種86万円は、インフルエンザ65歳以上75歳未満で200人分。高齢者肺炎球菌ワクチン40人分の86万円。健康診査は40歳未満25人分で23万6,000円。会場設営については、ふれあい広場のステージ設置でございます。20 節扶助費、償還払い、インフルエンザについては10人分、肺炎球菌については5人分の計上でござます。

次のページ、6 款諸支出金、1 項償還金及び還付加算金1 目償還金30万1,000円は、前年度と同額。2 項延滞金1 目延滞金1,000円については、科目存置。直診会計への操出金3,310万5,000円。これは、へき地診療所運営分ということでございます。予備費は、前年度同額300万円でございます。給与費明細書は、21 ページにありますので、後ほどごらんをいただきたいと思ひます。

以上で歳出を終わりました、歳入7 ページに移ります。

2、歳入。1 款国民健康保険税、1 項国民健康保険税1 目の一般被保険者国民健康保険税でございます。今年度、6,443万3,000円ということで、前年度からみると1,921万8,000円ほどの減となっておりますが、実は、広域になって2年目ということになりますけれども、平成30年度は広域初年度ということで、国のルール計算に基づいて推計値で北海道がシミュレーションした計算で計上しておりました。被保険者数も821人ということで、当町の現在あるいは前年度の被保数から見ても結構多い人数で計算されてきておりました。平成31年度については、12月末現在で655人ということで

す。道のシミュレーションをした被保険者数は、685人ということで大体2年目になって実態にある程度被保数が合った形になってきていると、そういう計算で予算を計上をしてございます。広域2年目ということで医療費の減額もございまして、被保数を654人で北海道はシミュレーションで出してきております。それが、今年度6,443万3,000円ということで、ある程度実態に近い被保険者数での計算になってきていると、そのように認識をしてしております。現年度課税分で6,283万1,000円。内訳は、ここに記載のとおりでございます。滞納繰越分については、ここに記載のとおりでございます。退職被保険者の6,000円については、現年分3,000円、滞納も3,000円ですが、それぞれ1,000円ずつの科目存置ということになります。先ほど、歳出で説明しましたけれども、被保数はゼロ人ということで、今はおりませんので科目存置ということで整理をさせていただいております。

次のページ、2款国庫支出金の1項国庫補助金、1目災害臨時特例補助金、これは科目存置でございます。これは、資料ナンバー47の②の数値になります。

3款道支出金、1項道負担金、1目保険給付費等負担金2億9,071万8,000円。1節の普通交付金2億4,711万1,000円については、⑳の数値、保険給付費分でございます。2節特別交付金4,360万7,000円は保険者努力支援分、㉑162万4,000円。調整交付金3,487万1,000円は、㉒と㉓の数値を合わせたもの。道繰入金611万2,000円については㉔の数値でございます。特定健診等負担金100万円については㉕の数字でございます。

4款財産収入1項財産運用収入の1目利子及び配当金1,000円、これは基金の利子㉖の数字でございます。

5款繰入金、1項他会計繰入金1目一般会計繰入金、1節保険基盤安定繰入金、保険税軽減分955万1,000円については㉗の数値。保険基盤安定繰入金、保険者支援分787万1,000円については㉘の数値。2節の事務費繰入金は652万9,000円は㉙と㉚の数値。出産育児一時等繰入金140万円は㉛の数値。財政安定化支援事業繰入金440万8,000円は㉜の数値。5款繰入金2項基金繰入金の国民健康保険基金繰入金642万円については㉝、㉞、㉟、㊱、㊲の数値でございます。

6款繰越金については、1,000円は㊳の数値でございます。7款諸収入の2項延滞金加算金及び過料、1目の一般被保険者延滞金、2目の退職被保険者等延滞金、3目の一般被保険者加算金、次のページの4目退職被保険者等加算金については、科目存置でございます。2項雑入の1目の一般被保険者第三者納付金、2目の退職被保険者第三者納付金、5番の療養給付費負担金、7番特定健康診査等負担金1,000円までは、科目存置でございます。8目雑入については5万5,000円。2段目の健康診査等個人負担金5万円については、40歳未満の健診25人分でございます。それ以外の1,000円については、科目存置ということでございます。

以上で議案第14号の説明を終わりました。第15号の説明に移ります。

議案第15号平成31年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算。第1条、第2項歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。

一時借入金。

第2条、地方自治法第235条の3、第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は5,000万円と定める。資料ナンバー49に直診会計歳入歳出予算資料をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

事項別明細書、歳出、11ページをお開きください。

歳出。

1款総務費、1項施設管理費1目一般管理費2億9,863万1,000円の予算計上があります。給料、手当、共済費の事務費負担金までは職員の人件費に係る分として、前年度から見ると576万7,000円の減となっております。平成30年度において、看護師1名が12月31日付で退職をいたしましたので、今現在、看護師職員数は17人です。平成31年度当初についても、新規採用の1名を加えて17人で予算計上しておりますが、まだ応募が来ていないのが現状でございます。

次のページに行きます。4節共済費、その他共済費で、社会保険料456万円。7節賃金で3,140万8,000円です。この中で、臨時看護師賃金1,318万円と603万7,000円ほどの増となっております。平成30年度当初においては、看護師職員10人と長期臨時職員1人と紹介所から派遣1名、12名で予算を計上してございまして、4節共済費が128万8,187円、7節賃金で426万8,160円、9節旅費で40万円、11節需用費で13万2,000円、12節役務費で92万2,000円の合わせて687万8,347円の臨時看護師に係る賃金でしたけれども、平成31年度においては、予算上は新規採用者を含めて10人で見ておりますけれども、現実的に今、応募者がいないということで、実質9名でございます。長期臨時が1人、派遣を2人予算を見てございます。予算上は、職員10名と長期臨時1名、派遣2名、13名で計上してございます。人材派遣紹介所から派遣を1名の増の予算ということで、4節共済費では179万8,543円ということで、51万円ほどの増。7節賃金で1,024万3,580円ということで、597万5,424円の増。9節旅費の赴任旅費が80万円と40万円の増。11節需用費は、変わりません。手数料が20%ということで、223万4,000円と131万2,000円の増。2人で1,520万8,127円ということで、前年度から見ると832万9,000円ほどの増となっております。

8節報償費以下、12節役務費、14節使用料及び賃借料、19節負担金補助及び交付金までは、例年どおりの計上ですが、13ページ12節役務費では、下から2番目でごみ処理手数料5万8,000円でございます。これは、事業系一般廃棄物処理料でございます。その上が労働者紹介手数料223万4,000円でございます。次のページ、14節

使用料及び賃借料で15ページの3行目、土地建物使用料30万円については、派遣看護師1名の移住産業研修センターの使用料でございます。18節備品購入で、事務用備品で745万1,000円。これは、平成24年度に購入した電子カルテ医事一体型システムの購入・更新に係る購入費でございます。管理用備品の17万9,000円は、宿直室用の椅子1個の更新でございます。16ページは、2項の研究研修費1目研究研修費ですが、9節旅費から19節負担金補助及び交付金までは例年どおりの計上。

2款の医療費1項医療費の1目医療用機械器具費11節需用費5万円も例年どおりの計上。医療用消耗器材費962万5,000円。11節需用費から13節委託料までは、例年どおりの計上でございます。3目医薬品費1,407万3,000円ですが、医薬品がまず診療収入の9.5%分、929万1,000円。ワクチンが448万1,000円。血液製剤が30万円の内訳となっております。4目検査費につきましては、293万5,000円ということで、診療収入の3%分でございます。5目寝具費は、マイナス9,000円の23万6,000円の計上。

次のページ、2項給食費1目給食費については例年どおりの計上でございますが、5万5,000円ほどの減額となっております。3款公債費1項公債費1目元金については101万5,000円。2目利子については11万9,000円でございます。なお、24ページに地方債見込調書もございますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。給与費明細書は、19ページから23ページにありますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

以上で歳出を終わりました、歳入の7ページをお開きください。

2、歳入、1款の診療収入。1項の入院収入ですが、1目国民健康保険診療報酬収入からその他の診療報酬収入まで891万円。前年度から見ると346万円の減額でございますが、平成30年度と同様人口減少に伴う患者の減、あるいは院外処方による減が主な要因でございます。2項の外来収入についても、1目の国民健康保険診療報酬収入から6目のその他診療収入まで7,239万円で、156万円ほどの減となっております。3項その他診療収入については、前年度同額1,700万5,000円。

2款使用料及び手数料、1項使用料、1目診療所使用料については、前年度同額でございます。2項手数料1目文書料79万円についても前年度同額。請求事務取扱料は、28万5,000円の減額。廃目となりますが、これは補正予算でも説明しましたが、昨年の8月からレセプトと一体化になったことにより、請求事務取扱手数料がなくなったということでございます。

3款の財産収入1項財産運用収入の1目財産貸付収入47万2,000円は、住宅3戸分の貸付収入。

4款繰入金、1項他会計繰入金1目一般会計繰入金1億9,084万2,000円ですが、まず起債償還分が105万8,000円。医療機器等整備分745万1,000円は、電子カルテ医事一体型システム更新事業分。財政対策分1億8,233万3,000円です

が、この補正予算で説明しましたがけれども、平成30年度で普通交付税が特別交付税で措置されたものが6,776万1,000円ほどございますので、平成31年度においても同様のことが措置されると、そのように認識をしております。2目の国保事業勘定特別会計繰入金、へき地診療所運営費分ですが、これは国保会計からの繰入金でございます。繰越金が100万円、前年度同額。

6款諸収入1項雑入の1目雑入で、1節私用電話料6,000円、2節雑入663万3,000円ということで、嘱託医報酬から医療器具使用料8万円までの内訳となっております。道支出金の総務費補助金については、廃項、廃目となっております。

以上で議案第15号の説明を終わります。次に第16号の説明に移ります。

議案第16号平成31年度陸別町簡易水道事業特別会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算。

第1条、第2項歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。

地方債。

第2条、地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は「第2表地方債」による。

一時借入金。

第3条、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は5,000万円と定める。

事項別明細書、歳出9ページをお開きください。

歳出、9ページです。給与費明細書は、15ページから20ページにありますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

1款総務費、1項総務管理費1目一般管理費1,901万2,000円の予算計上です。1節報酬、6万1,000円、委員報酬ですが、これは水道下水道審議会2回分を予定してございます。当然、10月から消費税が改正になるということになれば、下水道審議会に諮問する形になるかと思っております。2節給料から3節職員手当、4節共済費、9節旅費、11節需用費、12節役務費、13節委託料、19節負担金補助及び交付金、27節公課費までは例年どおりの計上でございますが、13節委託料で水道台帳629万円。これは、平成30年度、平成31年度の事業でございまして、町内全域の水道台帳をつくるということで、平成30年度においては台帳作成、台帳図、台帳調書を作成しておりますが、平成31年度においては、台帳システムの構築一式整備を予定してございます。平成31年度で、台帳整備は終了するということとなります。27節の公課費118万4,000円は消費税分として、平成30年度分が60万8,400円。平成31年度分の間納付分が57万4,800円でございます。

2款施設費、1項施設管理費1目の施設維持費、9節旅費、11節需用費、12節役務

費、次のページ、13節委託料、14節使用料及び賃借料、18節備品購入費、27節公課費までは例年同様の計上でございますが、11ページの12節役務費の一番下、ごみ処理手数料1,000円は、事業系一般廃棄物の処理手数料でございます。13節委託料の管路等修繕139万4,000円の中に、消火栓の整備31万2,000円を含んでございます。これは、歳入でも同額でございます。2目の施設新設改良費607万1,000円、15節工事請負費587万円、機器更新ですが、資料ナンバー51に箇所図がありますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。15節工事請負費は、平成26年度から平成31年度までの浄水場の計測機器の更新事業として、平成31年度でこの事業は終了します。平成31年度については、水質計器の更新として、次亜塩素貯蔵槽の2基更新工事587万円でございます。

3款公債費、1項公債費1目元金は9,377万6,000円。2目利子が1,901万1,000円でございます。21ページ、地方債の見込額調書がございますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。4款予備費については200万円、前年度同額でございます。

以上で歳出を終わりました、歳入7ページをお開きください。

歳入、7ページです。

1款使用料及び手数料1項使用料の1目水道使用料5,100万円。平成31年度については1,036戸、1,087件分でございます。平成30年度から見ると26戸の減、31件の減となっております。2項手数料の1目水道手数料、1節設計手数料6万円ですが、新設工事審査手数料が5件、4万円。その他工事審査手数料10件、2万円。指定手数料、給水装置工事事業者指定申請書審査手数料1件、1万円です。

2款国庫支出金1項国庫補助金の1目簡易水道事業補助金につきましては184万円。これは、浄水場の機器更新の補助基本額552万円の3分の1分でございます。

3款財産収入1項財産売払収入の1目物品売払収入は、科目存置の1,000円計上。

次のページ、4款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金ですが、1億892万1,000円でございます。建設改良分で5,817万4,000円。財政対策分で5,074万7,000円でございます。なお、財政対策分では、前年度から見ると693万7,000円ほどの減となっております。

5款の繰越金については50万円、前年度同額でございます。

諸収入の1目雑入でございますが、99万円。下水道からの料金事務負担分が67万8,000円。消火栓整備等補償費が31万2,000円でございます。

7款町債、1目の簡易水道事業債360万円ですが、機器更新事業、過疎債が180万円、簡水債が180万円でございます。

以上で歳入を終わりました、4ページをお開きください。

4ページ、「第2表地方債」でございます。

起債の目的。

過疎対策事業、機器更新事業180万円。簡易水道事業、機器更新事業180万円。合計360万円でございます。起債の方法は、普通貸借または証券発行、利率償還の方法は、ここに記載のとおりでございます。

以上で議案第16号の説明を終わりました、次に議案第17号の説明に移ります。

議案第17号平成31年度陸別町公共下水道事業特別会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算。

第1条、第2項歳入歳出予算の款項区分及び当該区分ごとの金額は「第1表歳出予算」による。

地方債。

第2条、地方自治法第230条第1項の規定により、起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は「第2表地方債」による。

一時借入金。

第3条、地方自治法第235条の3、第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は5,000万円と定める。

事項別明細書、歳出9ページをお開きください。

歳出、9ページです。給与費明細書は、15ページから19ページにありますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

1款総務費、1項総務管理費1目一般管理費1,257万6,000円の計上です。2節の給料、3節職員手当、4節共済費については、職員の人件費。9節旅費から27節公課費までは、例年どおりの計上でございます。19節負担金補助及び交付金で、下水道料金事務負担金67万9,000円は、簡水会計への負担金となります。23節償還金利子及び割引料の国庫補助金等返還金1万1,000円については、平成30年度において、浄化センター機器更新事業に係る更新前の機器を有価物として処分をしました。その処分をした金額に、補助率を掛けた額を国へ返還するということになりまして、55%の補助率を掛けて算出した金額1万1,000円を国に返還するものでございます。27節公課費59万円、消費税ですが、平成30年度分の確定分でございます。

2款施設費、1項施設管理費1目施設維持費、11節需用費、12節役務費、13節委託料、18節備品購入まで例年どおりの計上になりますけれども、12節役務費でごみ処理手数料8万円は、事業系一般廃棄物の処理手数料。13節委託料で、3行目の施設設備改修131万8,000円は、公共汚水柵修繕13カ所分、撤去1カ所、マンホール修繕1カ所分でございます。施設設備保守管理488万3,000円については、浄化センターの電気工作物保守管理、消防設備点検、浄化センター中央監視装置点検、機械設備分解整備が内容でございます。管渠清掃329万1,000円は、下水道管渠の調査・清掃で、調査箇所がマンホール95カ所、清掃は3,574メートルでございます。施設移転等88万9,000円は、町道改良工事に伴う公共柵の高さ調整17カ所、マンホールの

高さ調整3カ所分でございます。

3款事業費1項下水道整備費の1目下水道建設費6,099万1,000円。9節旅費、11節需用費、13節委託料、15節工事請負費でございますが、資料ナンバー52に箇所図がありますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。13節委託料で980万円。基本計画策定でございます。これは、現浄化センターの長寿命化計画が平成27年度から平成31年度で終了いたします。ストックマネジメント計画策定が平成32年度から平成36年度までの5年間。これは、下水道施設管路等の維持管理計画で、平成30年度と平成31年度の2年間で策定するものでございます。

下水道事業の計画、これは平成29年度から平成32年3月の3年間ですが、事業計画の変更について北海道と協議を行うということで、全体計画が平成31年度までです。事業計画は、平成29年度から平成31年度の3年間分。下水道事業計画の変更計画の策定ですが、これは下水道事業計画を見直しするというので、全体計画が平成32年から平成41年度までの10年間でございます。事業計画は、平成32年度からの3年程度の計画ということで、今後、道と協議をして決めていくということになります。それらの計画策定で980万円。15節工事請負費で5,102万8,000円は、汚水柵設置等附帯工事3カ所分で142万8,000円。機器更新、電気機械設備の更新ですが、4,960万円でございます。4款公債費1項公債費1目元金が4,268万1,000円、2目利子が769万4,000円で、20ページに地方債の見込額調書があります。後ほどごらんをいただきたいと思っております。5款予備費が、同額の100万円でございます。

以上で歳出を終わりました、歳入7ページをお開きください。

1款分担金及び負担金1項分担金、1目の下水道事業分担金ですが40万円。受益者分担金で、平成29年度分の7戸、平成30年度分の9戸、16戸分の分担金です。

2款使用料及び手数料1項使用料の1目の下水道使用料2,390万円は、平成31年度817戸、835件分です。平成30年度が837戸の849件ですから、戸数でマイナス20戸、件数で14件の減でございます。2項手数料1目下水道手数料ですが、6万2,000円ですが、業者指定手数料1件、1万円。新設工事審査手数料5件で4万円。その他工事審査手数料で3件の1万2,000円でございます。

3款国庫支出金1項国庫補助金、1目下水道事業補助金3,094万円ですが、特定環境保全公共下水道事業補助金は、浄化センターの機器更新事業に係る補助金3,094万円でございます。

4款繰入金1項他会計繰入金、1目一般会計繰入金ですが、9,862万1,000円でございます。高資本費対策分で512万6,000円。これは、今年度初めて出てきた数字でございますが、内容としては、目的もございませうけれども、自然条件などによって建設改良費が割高になるため、資本が著しく高額となっている下水道事業について、資本費負担の軽減を図り、経営への健全化を確保する目的が一つございませう。そういう経営の健全化を確保する目的で資本費の一部を繰り出すという内容です。

計算としては、2年前、平成29年度における資本費・使用料、それぞれが要件を満たし、経営戦略つまり陸別町が平成30年度に計画を策定しておりましたので、その経営戦略を策定しているということが条件になると、それが高資本費対策分として512万6,000円でございます。建設改良分で168万6,000円。分流式下水道に要する経費4,826万1,000円ですが、これは財政対策分となりますけれども、下水道会計収支の確保することを目的とするという内容でございます。算出方法としては、下水道使用料分担金だけではなく、下水道会計に歳入不足を招くため、2年前の決算統計の決算額から算出するというところでございます。なお、高資本対策、それから分流式下水道、建設改良分というのは、それぞれ法的なり算出根拠が明確になっている財政対策分ということになります。財政対策分の4,354万8,000円というのは、本当の赤字分の繰入金と、そういうことになろうかと思えます。トータルすれば、全て赤字の繰入金になるのですけれども、今言った三つについては、算出根拠が明確になっている法的なりの赤字対策分ということになります。5款繰越金については50万円、前年度同額です。

6款町債1項町債、1目下水道事業債2,340万円については、下水道事業の過疎債が1,170万円、下水道事業債が1,274万円でございます。

7款財産収入、1項財産売却収入1目物品売却収入1,000円は、科目存置でございます。

以上で歳入を終わりました、4ページをお開きください。

4ページ、「第2表地方債」でございます。

起債の目的。過疎対策事業、特定環境保全公共下水道事業1,170万円。下水道事業、特定環境保全公共下水道事業1,170万円。合わせて2,340万円です。起債の方法は、普通貸借または証券発行。利率償還の方法は、ここに記載のとおりでございます。

以上で議案第17号の説明を終わりました、次、議案第18号の説明に移ります。

議案第18号平成31年度陸別町介護保険事業勘定特別会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算。

第1条、第2項歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は「第1表歳入歳出予算」による。

歳出予算の流用。

第2条、地方自治法第202条第2項のただし書きの規定により、歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。第1号、保険給付費の各項に計上された予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

事項別明細書、歳出11ページをお開きください。

3、歳出です。

1款総務費、1項総務管理費1目一般管理費。9節旅費、11節需用費、2款の賦課徴

収費、1目の賦課徴収費、11節需用費、12節役務費については、例年どおりの計上です。3項の介護認定審査会費、1目の介護認定審査会費241万1,000円については、12節役務費80万6,000円のうち、主治医の意見書料79万円。これは、在宅が145名、施設が25件、合わせて170件分でございます。指定医診断料9,000円は3名分。19節負担金補助及び交付金160万6,000円は、池北三町の介護認定審査会の運営費の負担金でございます。2目の認定調査費、13節委託料73万2,000円。これは、在宅160名、施設10件の170件でございます。

2款保険給付費、1項介護サービス等諸費、1目居宅介護サービス給付費1億3,252万2,000円、139名分。前年度から見ると3名の増。2目居宅介護サービス計画給付費841万4,000円、51名分、3名の増。3目施設介護サービス給付費1億1,147万8,000円。特老が38名、老健が2名、特老でマイナス2名でございます。4目居宅介護福祉用具購入費45万円は、5件。5目の居宅介護住宅改修費90万円は、5件でございます。

次、2項の介護予防サービス等諸費、1目の介護予防サービス給付費134万3,000円は12名、マイナス8名でございます。2目の介護予防サービス計画給付費59万2,000円は11名、マイナス3名でございます。3目の介護予防福祉用具購入費45万円は、5件。4目介護予防住宅改修費54万円は、3件でございます。

3項その他の諸費、1目審査支払手数料18万7,000円は、360件、マイナス316件でございます。

次のページになります。4項高額介護サービス等費。1目高額介護サービス費502万3,000円、46名分、3名の増。2目高額介護予防サービス費1,000円、これは科目存置でございます。5項の高額医療合算介護サービス等費、1目高額医療合算介護サービス費254万円は40名分、マイナスの16名でございます。2目の高額医療合算介護予防サービス費1,000円は、科目存置。6項の特定入所者介護サービス等費、1目特定入所者介護サービス費は40名分、マイナス2名分でございます。2目の特例特定入所者介護サービス費1,000円、一つ飛んで、4目特例特定入所者介護予防サービス1,000円は、科目存置。3目の特定入所者介護予防サービス費3万円は、1名分でございます。

3款の地域支援事業費、1項介護予防生活支援サービス事業費、1目の介護予防生活支援サービス事業費483万円ですが、13節委託料、175万5,000円。総合事業委託料175万5,000円は、訪問型サービスAのNPOへの委託料。6人の利用を見込みまして、年間680回の利用を見込んでございます。19節負担金補助及び交付金の307万5,000円、第1号事業給付費でございますが、通所介護で延べ124人、訪問型サービスで、延べ44人分でございます。2目の介護予防ケアマネジメント事業費、13節委託料ですが、総合事業委託料16万4,000円は、居宅介護事業所へ36件分の委託料でございます。

次のページ、2項一般介護予防事業費、1目一般介護予防事業費で70万8,000円。11節需用費で、印刷製本費9万9,000円は介護保険料のお知らせの印刷。13節委託料34万9,000円、介護予防事業ですが、社協のふまねっと運動8万5,000円。地域リハビリテーション活動支援ということで、事業委託で理学療法士を招聘、月に1回、年12回分で26万4,000円の内訳でございます。3項包括的支援事業任意事業、1目の包括的・継続的ケアマネジメント支援事業80万4,000円ですが、13節委託料31万9,000円は、介護予防サービス計画作成で、町の居宅介護事業所へ72件分でございます。2目の任意事業費262万1,000円。11節需用費1万9,000円については、認知症サポーターの養成講座用のテキスト代。12節役務費10万9,000円は、成年後見制度利用支援申立費で、新規1名を見込んでございます。13節委託料215万7,000円、任意事業ですが、社協への給食サービス14人の2,760食。介護用品給付409戸。家族介護支援事業、オレンジセーフティネット事業でございます。これは、認知症高齢者の見回り全国ネットワークでございまして、月3万円の12カ月分でございます。登録予定者は、2名を予定してございます。20節の扶助費33万6,000円は、成年後見人制度利用報酬33万6,000円でございます。対象者はいませんけれども、在宅で1名を見込んでの支援費として予算を計上してございます。3目の認知症総合支援事業費は、9節旅費の研修会旅費、そのテキスト代5,000円、会議負担金受講料が内容でございます。次のページ、4項その他諸費、1目審査支払手数料1万1,000円。国保連への総合事業審査支払手数料168件分です。

4款基金積立金、科目存置1,000円。

5款諸支出金、1項償還金及び還付加算金、1目第1号被保険者保険料還付金10万円は、前年度同額。介護給付費負担金等返還金1,000円は、科目存置。予備費は、100万円の同額でございます。

以上で歳出を終わります。歳入の7ページに移ります。

資料ナンバー53に介護給付費財源充成一覧、資料ナンバー54に地域支援事業財源充当費一覧資料をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

1款介護保険料、1項介護保険料1目第1号被保険者保険料、1節現年分5,577万7,000円ですが、被保数を924人で計算をしております。普通徴収保険料429万6,000円については、69人分。特別徴収保険料5,148万1,000円については、855人でございます。

2款の国庫支出金、1項国庫負担金からは、各負担割合に基づいて予算計上してございます。国庫負担金の1目介護給付費負担金5,078万8,000円は20%分。2項の国庫補助金の1目調整交付金2,225万7,000円は7.9%分。2目の地域支援事業交付金265万6,000円は、介護予防日常生活支援総合事業138万2,000円は25%分。介護予防日常生活支援総合以外の地域支援事業127万4,000円は38.5%分。3目の保険者機能強化推進交付金は、科目存置1,000円。

3 款道支出金、1 項道負担金、1 目の介護給付費負担金 4,079 万 6,000 円は 12.5%分。2 項の道補助金、1 目地域支援事業交付金 132 万 6,000 円。介護予防日常生活支援事業 69 万円は 12.5%分。介護予防日常生活支援総合事業以外の地域支援事業 63 万 6,000 円は 19.25%。

4 款支払基金交付金、1 項支払基金交付金、1 目の介護給付費交付金 7,608 万 7,000 円については 27%分。地域支援事業支援交付金についても 149 万 3,000 円は 27%分。

5 款財産収入 1 項財産運用収入の 1 目利子及び配当金は、科目存置の 1,000 円。

6 款繰入金、1 項他会計繰入金、1 目一般会計繰入金 4,381 万 3,000 円ですが、1 節の介護給付費繰入金 3,522 万 2,000 円、介護給付費分 3,522 万 2,000 円分は 12.5%分。2 節事務費繰入金 446 万 1,000 円ですが、12.5%分が 69 万円。不足と事務費分で 446 万 1,000 円です。3 節地域支援事業繰入金 134 万 5,000 円で、介護予防・日常生活支援総合事業分 70 万 2,000 円が 12.5%分の 69 万円と事務費分の 1 万 2,000 円。その下、介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業 64 万 3,000 円は 19.25%の 63 万 7,000 円と事務費分の 6,000 円でございます。4 目の低所得者保険料軽減繰入金 278 万 5,000 円は 0.98%分で、国が 2 分の 1 分、139 万 2,000 円。北海道が 4 分の 1 分、69 万 6,000 円。町負担分 4 分の 1 分で 69 万 7,000 円です。対象者は、401 名でございます。

6 款繰入金 2 項基金繰入金の 1 目介護給付費準備基金繰入金 15 万 3,000 円、0.05%分の取り崩しでございます。なお、参考までに基金の残高としては 567 万 8,000 円でございます。

7 款繰越金については、科目存置の 1,000 円。8 款諸収入 1 項延滞金及び過料の 1 目第 1 号被保険者延滞金についても科目存置でございます。2 目の第 1 号被保険者過料 1,000 円も科目存置。2 項の預金利子、1 目預金利子 1,000 円も科目存置。

8 款諸収入 3 項雑入の 1 目滞納処分費、2 目の第三者納付金、3 目の返納金は、それぞれ 1,000 円の科目存置でございます。4 目雑入の 49 万 4,000 円、雑入ですが、介護扶助審査判定業務 31 万 9,000 円。総合事業利用者負担金 17 万 5,000 円は、訪問型 A サービスの利用者負担金でございます。

以上で、議案第 18 号の説明を終わりました。次、議案第 19 号の説明に移ります。

議案第 19 号平成 31 年度陸別町後期高齢者医療特別会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算。第 1 条、第 2 項歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は「第 1 表歳入歳出予算」による。

それでは、事項別明細書、歳出 9 ページをお開きください。

9 ページ、歳出です。

1 款総務費、1 項総務管理費 1 目一般管理費 256 万円の予算計上です。9 節旅費から

20節扶助費までは、例年どおりの計上です。13節委託料202万7,000円ですが、健康診断等61万4,000円は65人分。各種予防接種140万円は、インフルエンザ400人分でございます。20節扶助費7万6,000円は、償還払いですが、インフルエンザ20人分でございます。

2款後期高齢者医療広域連合納付金、1項後期高齢者医療広域連合納付金1目後期高齢者医療広域連合納付金4,665万4,000円ですが、まず、事務費負担金で208万円。保険料等負担金4,457万4,000円。内訳としては、保険料分が3,091万6,000円。保険基盤安定分が1,365万8,000円でございます。

次のページ、3款諸支出金、1項償還金及び還付加算金1目の保険料還付金10万円、前年度同額。2目の還付加算金1万円も前年度同額です。なお、歳入でも同額が広域連合から入ってきます。予備費は30万円、前年度同額です。

以上で、歳出を終わりにして、歳入7ページをお開きください。

2、歳入です。1款後期高齢者医療保険料、1項後期高齢者医療保険料1目特別徴収保険料1,665万8,000円。現年度分ですが、被保数は572人で計上しております。現年度分は53.9%。2目普通徴収分は1,425万8,000円、46.1%分です。今年度から新たに普通徴収保険料過年度分ということで1万円を計上しておりますが、3月に後期高齢者資格取得した方々2名がおられまして、その保険料が4月に入ってきますので、過年度収入として計上しております。

2款使用料及び手数料、1項手数料1目の証明手数料は科目存置。

3款繰入金、1項他会計繰入金1目事務費繰入金455万4,000円ですが、これは、一般管理費256万円と広域連合事務費208万円、それに予備費30万円を足した494万円からその他の収入38万6,000円を引いた金額が455万6,000円でございます。2目の保険基盤安定繰入金ですが、1,365万8,000円。北海道負担分が1,024万3,000円。陸別町の負担分4分の1分、341万5,000円でございます。

4款繰越金は1,000円、科目存置でございます。

5款諸収入、1項延滞金及び過料1目延滞金1,000円、科目存置。2項の償還金及び還付加算金、1目の加算金が1万円、2目保険料還付金が10万円。歳入歳出同額でして、先ほど説明したとおり広域連合から補填される分です。3項雑入、1目雑入38万3,000円は、広域連合からの健診助成金でございます。資料ナンバー55に歳入歳出予算のフロー図がありますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

以上で議案第13号から19号のまでの説明を終わります。

雑駁な説明で恐縮ですけれども、以後、御質問によってお答えをしたいと思っておりますので御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上であります。

◎延会宣告

○議長（宮川 寛君） 副町長におかれましては、大変お疲れさまでした。

お諮りします。

本日の会議はこれで延会とし、議会運営委員会の決定のとおり、次の会議は3月11日からとしたいと思います。

御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（宮川 寛君） 異議なしと認めます。

したがって、本日はこれで延会することに決定しました。

本日は、これにて延会いたします。

延会 午後 3時23分

以上、地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定により署名する。

議長

議員

議員